DocuPrint 4050

PostScript ユーザーズガイド

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

はじめに

このたびは富士ゼロックスの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、本機を PostScript プリンターとして使用するときに、最初に読んでいただきたいマニュアルです。

なお、本書の内容は、プリンターの操作方法、お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューター、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属のマニュアルをお読みください。

また、本書は製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくために、必要に応じてお読みください。

富士ゼロックス株式会社

マニュアル体系

本製品には、次のマニュアルを用意しています。

PostScript ユーザーズガイド　<本書>

本機を PostScript プリンターとして使用するための、ドライバーのインストール方法や設定できる機能について説明しています。

PostScript Driver Library について

PostScript Driver Library の CD-ROM のディレクトリー構成について説明しています。

本機には、次のマニュアルが同梱されています。プリンター機能としての設定 / 操作方法、ネットワーク環境の設定などについて参照してください。

■セットアップガイド

本機の設定手順を説明しています。

■知りたい、困ったにこたえる本

プリンターの基本的な使い方と、お客様からよくある質問を取り上げ、1 冊にまとめました。トラブルで困ったときの解決方法も紹介しています。また、オプションの増設メモリーや内臓増設ハードディスク、セキュリティ拡張キット、パラレルインターフェースカードの取り付け手順について説明します。

■ユーザーズガイド（PDF）

本気の設定が終わってから印刷するまでの準備、印刷機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、および日常の管理について説明しています。

このマニュアルは、本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM 内に収録されています。

■エミュレーション設定ガイド（PDF）

ART IV、ESC/P、PCL、201H、HP-GL、HG-PL2 の各エミュレーションについて説明しています。

このマニュアルは、本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM 内に収録されています。

本書の使い方

ここでは、本書の読み方について説明します。

本書の構成

本書は、次のような構成になっています。

■1 概要

このマニュアルの概要、インストール時の機種名などについて説明しています。

■2 Windows でのドライバーインストール

Microsoft® Windows® でのプリンタードライバーのインストール方法と、機種共通の設定項目について説明しています。

■3 Macintosh でのインストール

Macintosh でのプリンタードライバーおよびユーティリティソフトウエアのインストール方法と、各種設定項目について説明しています。

■4 プリンタードライバーの設定

プリンタードライバーの固有機能の設定方法や、使用できるフォントなどについて説明しています。

■5 バーコード /OCR-B の設定

PostScript ソフトウエアキットを装着することにより、バーコードを印刷できる機種について、対応するバーコードの種類、バーコードキャラクタに割り当てられた文字コード、印刷されるバーコードのサイズなどについて説明しています。

本書の表記

- **本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。**
- **本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。**

  注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

  補足　補足事項を記述しています。

- **本文中では、次の記号を使用しています。**

『　　　』	：	参照するマニュアルを表します。
「　　　」	：	本書内にある参照先を表します。 また、CD-ROM、機能、タッチパネルディスプレイのメッセージなどの名称や入力文字などを表します。
[　　　]	：	本機の操作パネルに表示されるボタンやメニューなどの名称を表します。また、コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表します。
〈　　　〉ボタン	：	操作パネル上のハードウエアボタンを表しています。
〈　　　〉キー	：	コンピューターのキーボード上のキーを表しています。

- **チェックボックスがチェックされている状態をオン、チェックされていない状態をオフで表します。**
- **ラジオボタンは、チェックされている項目が、選択されている項目です。**

目次

はじめに 3
マニュアル体系 4
本書の使い方 5
本書の構成 5
本書の表記 6
目次 7
1 概要 9
同梱品の確認と設置 10
プリンタードライバーインストール時のプリンター名について 10
プリンターに対応した PPD ファイル名について 11
利用可能なソフトウエアと対象 OS について 12
プリンター側の設定 14
UNIX 環境で使用するには 14
最新版ソフトウエアの入手方法 14
2 Windows でのドライバーインストール 15
付属の CD-ROM について 16
ソフトウエアの動作環境 17
プリンタードライバーのインストール 18
プリンターを一括でインストールする（標準セットアップ） 18
TCP/IP ネットワークで接続されたプリンターをインストールする 20
Windows ネットワークで接続されたプリンターをインストールする 22
Windows サーバー上の共有プリンターをインストールする 24
NetWare サーバー上の共有プリンターをインストールする 25
既存のポートを利用してインストールする 26
ローカルプリンターをインストールする 27
［プリンタの追加］を使ってインストールする 28
ヘルプの使い方 36
プロパティダイアログボックスでヘルプを使う 36
印刷設定ダイアログボックスでヘルプを使う 36
USB ポートを利用するには 37
プリンタードライバーを更新するには 38
3 Macintosh でのインストール 39
付属の CD-ROM について 40
ソフトウエアの動作環境 41
プリンタードライバーのインストール 42
Mac OS 8.6-9.2.2 へのインストール方法 42
Mac OS 8.6-9.2.2 の PPD ファイルの設定 43
Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5 用 PPD ファイルのインストール 47

Mac OS X 10.3.9-10.4.11 プリンターの追加 48
Mac OS X 10.5 プリンターの追加 51
スクリーンフォントのインストール 55

4 プリンタードライバーの設定 57
機種固有の設定項目 58
Windows 58
Macintosh 85
PostScript フォント一覧 102
和文 102
欧文 102

5 バーコード /OCR-B の設定 105
バーコード /OCR-B について 106
フォントの種類と文字コード 106
サンプルプログラムと出力結果について 106
文字コード表 107
JAN 文字コード表 107
CODE39 文字コード表 108
NW7 文字コード表 109
CODE128 文字コード表 110
ITF(Interleaved 2 of 5) 文字コード表 113
カスタマバーコード文字コード表 115
バーコードのサイズ 116

1 概要

- 同梱品の確認と設置 10
- プリンタードライバーインストール時のプリンター名について 10
- プリンターに対応したPPDファイル名について 11
- 利用可能なソフトウエアと対象OSについて 12
- プリンター側の設定 14
- UNIX環境で使用するには 14
- 最新版ソフトウエアの入手方法 14

同梱品の確認と設置

PostScript ソフトウエアキットの同梱品と設置については、PostScript ソフトウエアキットに同梱されているマニュアルを参照してください。

プリンタードライバーインストール時のプリンター名について

プリンタードライバーをインストールするときに選択するモデル名は、下表の「インストール時のプリンター名」と書体の組み合わせで表示されます。

インストール時のプリンター名	お使いの機種名
FX DocuPrint 4050	DocuPrint 4050

書体の表示について

「インストール時のプリンター名」のあとに表示される文字列は、PostScript ソフトウエアキットに入っている書体を表します。お使いの PostScript ソフトウエアキットに合わせて選択してください。

- ××××× PS J2: モリサワ 2 書体
- ××××× PS H3: 平成 3 書体

補足 ・ ×××××には、プリンター名が入ります。
・ お使いの PostScript ソフトウエアキットの書体は、機能設定リスト、またはプリンター設定リストで確認できます。

プリンターに対応した PPD ファイル名について

プリンター名に対応した PPD ファイル名は次のとおりです。

Windows 用 PPD ファイル名

お使いの機種名	フォント	PPD ファイル名	プリンター名
DocuPrint 4050	モリサワ 2 書体	FXCL1W21.PPD	FX DocuPrint 4050 PS J2
	平成 3 書体	FXCL1X31.PPD	FX DocuPrint 4050 PS H3

Mac OS 8.6-9.2.2 日本語版用 PPD ファイル名 / プリンター名

お使いの機種名	フォント	PPD ファイル名 / プリンター名
DocuPrint 4050	モリサワ 2 書体	FX DocuPrint 4050 PS J2
	平成 3 書体	FX DocuPrint 4050 PS H3

Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5 用 PPD ファイル名 / プリンター名

お使いの機種名	フォント	PPD ファイル名 / プリンター名
DocuPrint 4050	モリサワ 2 書体	FX DocuPrint 4050 PS J2
	平成 3 書体	FX DocuPrint 4050 PS H3

利用可能なソフトウエアと対象 OS について

「PostScript Driver Library」の CD-ROM で利用可能なソフトウエアと OS は次のとおりです。

補足 ・ この CD-ROM に格納されていない対象ドライバーは、ホームページからダウンロードしてください。

Windows 用ソフトウエア

分類	ソフトウエア	対象 OS
プリンタードライバー	Microsoft 社製日本語版プリンタードライバー（MS Pscript5）＋弊社製 Plugin ドライバ +PPD ファイル	Windows 2000 (Service Pack 3 またはそれ以降)、 Windows XP、 Windows XP 64 ビット版、 Windows Server 2003、 Windows Server 2003 64 ビット版 Windows Vista、 Windows Vista 64 ビット版 Windows Server 2008、 Windows Server 2008 64 ビット版
	Microsoft 社製英語版プリンタードライバー(MS Pscript5)+弊社製 Plugin ドライバ +PPD ファイル	Windows 2000 (Service Pack 3 またはそれ以降)、 Windows XP、 Windows XP 64 ビット版、 Windows Server 2003、 Windows Server 2003 64 ビット版 Windows Vista、 Windows Vista 64 ビット版 Windows Server 2008、 Windows Server 2008 64 ビット版
PPD ファイル	Windows アプリケーション用 PPD ファイル（日本語版）	Windows 2000/XP、 Windows XP 64 ビット版、 Windows Vista、 Windows Vista 64 ビット版、 Windows Server 2003、 Windows Server 2003 64 ビット版 Windows Server 2008、 Windows Server 2008 64 ビット版
スクリーンフォント	Adobe 社製 Windows スクリーンフォント PostScript 3 標準 136 書体（欧文）	Windows 2000/XP、 Windows XP 64 ビット版、 Windows Vista、 Windows Vista 64 ビット版、 Windows Server 2003、 Windows Server 2003 64 ビット版 Windows Server 2008、 Windows Server 2008 64 ビット版
Adobe Reader	日本語版 Adobe Reader 7.0.9J*1	ー

*1 Adobe Reader の対象システムについては、Adobe 社のホームページなどを参照してください。

Macintosh 用ソフトウエア

分類	ソフトウエア	対象 OS
プリンタードライバー	Adobe 社製日本語版プリンタードライバー（Ver:8.8J）+PPD ファイル	Mac OS 8.6-9.2.2 日本語版
	Mac OS X 10.3.9-10.4.11 用 PPD インストールパッケージ（日本語用）+ 弊社製 Plugin ドライバー	Mac OS X 10.3.9-10.4.11 日本語版（10.4.7 は除く）
	Mac OS X 10.5 用 PPD インストールパッケージ（日本語用）+ 弊社製 Plugin ドライバー	Mac OS X 10.5 日本語版
プリンタ記述ファイル	日本語版	―
	英語版	―
スクリーンフォント	欧文フォント / 和文フォント	―
和文フォント	和文モリサワ 2 書体	Mac OS 8.6-9.2.2 日本語版
	和文平成 3 書体	Mac OS 8.6-9.2.2 日本語版
Acrobat Reader	Adobe社製Macintosh用日本語版Acrobat Reader 7.0.9J*1	―
PS Utility	弊社製 Macintosh 用 PS Utility 日本語版（Ver: 1.5.0）*2	―

*1 AAdobe Reader の対象システムについては、Adobe 社のホームページなどを参照してください。
*2 接続する機種によって、使用できる機能が異なります。

プリンター側の設定

PostScript ソフトウエアキットを装着すると、PostScript に関する設定項目が追加されます。追加される項目は、お使いの機種によって異なります。

追加される設定項目と操作方法の詳細については、本機に同梱されているマニュアルを参照してください。

UNIX 環境で使用するには

プリンターを UNIX 環境で使用する場合の設定方法、および操作の詳細については、本機に同梱されているマニュアル、またはドライバー CD キットの CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

なお、UNIX 環境で使用するには、UNIX フィルター（エイセル株式会社製）が必要です。

最新版ソフトウエアの入手方法

最新版ソフトウエアは、インターネットのホームページで提供しています。ダウンロードしてお使いください。

なお、通信費用は、お客様の負担となりますので、ご了承ください。

ダウンロードページのアドレスは、次のとおりです。

http://download.fujixerox.co.jp/

補足 ・本書を Adobe Acrobat 6.0 以上で開き、上記アドレスをクリックすると、そのページにジャンプします。

2 Windows でのドライバーインストール

- 付属の CD-ROM について....................................16
- ソフトウエアの動作環境....................................17
- プリンタードライバーのインストール 18
  - プリンターを一括でインストールする（標準セットアップ）.........18
  - TCP/IP ネットワークで接続されたプリンターをインストールする ...20
  - Windows ネットワークで接続されたプリンターをインストールする ..21
  - Windows サーバー上の共有プリンターをインストールする 23
  - NetWare サーバー上の共有プリンターをインストールする 24
  - 既存のポートを利用してインストールする 26
  - ローカルプリンターをインストールする 27
  - ［プリンタの追加］を使ってインストールする 28
- ヘルプの使い方....................................36
  - プロパティダイアログボックスでヘルプを使う 36
  - 印刷設定ダイアログボックスでヘルプを使う 36
- USB ポートを利用するには 37
- プリンタードライバーを更新するには 39

付属の CD-ROM について

付属の CD-ROM（PostScript Driver Library）に同梱されているものは、次のとおりです。

補足　・Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista および Windows Server 2008 で利用できます。

■「Win2K_Vista」フォルダー内の「DocuPrint_4050」フォルダー

Microsoft 社製 PostScript Driver に弊社機の機能を追加したプリンタードライバーをインストールするための、INF ファイルと日本語版の PPD ファイルが入っています。32bit 版の OS に対応しています。

■「WinX64」フォルダー内の「DocuPrint_4050」フォルダー

Microsoft 社製 PostScript Driver に弊社機の機能を追加したプリンタードライバーをインストールするための、INF ファイルと日本語版の PPD ファイルが入っています。64bit 版の OS に対応しています。

■「WinPPD」フォルダー内の「DocuPrint_4050」フォルダー

PPD ファイルが入っています。アプリケーションなどに PPD ファイルを追加するときに使用します。

■「Utility」フォルダー内の「WinScreenFont」フォルダー

プリンターフォントに対応した、スクリーンフォント 136 書体（TrueType 形式の 19 書体と Type1 形式の 117 書体）が入っています。
「TrueType（Core OS）fonts」フォルダーに、TrueTypeフォント19書体が入っています。

■「Utility」フォルダー内の「WinAR7」フォルダー

Windows 用の Adobe Reader(7.0.9J）が入っています。

■「WinICC」フォルダー

Windows 用の ICC プロファイルが入っています。

■readme ファイル

プリンタードライバーを使用するための注意事項が記載されています。必ずお読みください。また、各フォルダー内の「readme.txt」にも、プリンタードライバーを使用するための注意事項が記載されています。必ずお読みください。

ソフトウエアの動作環境

Windows 用のプリンタードライバーの動作環境は、次のとおりです。

■コンピューター本体

- **Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008 が動作する、IBM PC/AT、およびその互換機**

■基本ソフトウエア

- **Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版**
- **Microsoft Windows 2000 Server 日本語版**
- **Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版**
- **Microsoft Windows XP Professional 日本語版**
- **Microsoft Windows XP Professional x64 Editions 日本語版**
- **Microsoft Windows Server 2003 日本語版**
- **Microsoft Windows Server 2003 x64 Editions 日本語版**
- **Microsoft Windows Vista 日本語版**
- **Microsoft Windows Vista 64 ビット 日本語版**
- **Microsoft Windows Server 2008 日本語版**
- **Microsoft Windows Server 2008 64 ビット 日本語版**

補足 ・**Windows 2000 にプリンタードライバーをインストールするためには、Service Pack 3 またはそれ以降のバージョンが必要です。**

プリンタードライバーのインストール

付属の「ドライバーインストールツール」を利用して、日本語版の Microsoft 社製 PostScript Driver に弊社機の機能を追加したプリンタードライバーをインストールできます。プリンタードライバーのインストール方法は、標準セットアップとカスタムセットアップがあります。

また、付属の「ドライバーインストールツール」を利用しないで、Windows の「プリンタの追加ウィザード」を利用して、プリンタードライバーをインストールすることもできます。

■標準セットアップ

LPR(TCP/IP) プリンターを自動検索し、1 回の操作で複数のプリンターをセットアップします。特に指定がなければ、こちらのセットアップをお勧めします。

- **TCP/IP ネットワークで接続されたプリンターを一括でインストールする**

  インストールの方法については、「プリンターを一括でインストールする（標準セットアップ）」(P.18) を参照してください。

■カスタムセットアップ

LPR(TCP/IP)/SMB プリンター、NT/NetWare 共有プリンター、パラレルポートを指定してインストールできます。1 回の操作で 1 台のプリンターをセットアップします。

- **LPR(TCP/IP) プリンターを指定する**
  LPR(TCP/IP) プリンターを指定してインストールします。

  インストールの方法については、「TCP/IP ネットワークで接続されたプリンターをインストールする」(P.20) を参照してください。

- **SMB プリンターを指定する**
  SMB プリンターを指定してインストールします。

  インストールの方法については、「Windows ネットワークで接続されたプリンターをインストールする」(P.21) を参照してください。

- **共有プリンターを指定する**
  NT/NetWare などの共有プリンターを指定してインストールします。

  インストールの方法については、「Windows サーバー上の共有プリンターをインストールする」(P.23)「NetWare サーバー上の共有プリンターをインストールする」(P.24) を参照してください。

- **ローカルプリンターを指定する**
  コンピューター本体のパラレルポートまたは既存のポートを指定してインストールします。プリンターオプションの自動設定は行われませんので、インストール後にプリンターのプロパティで設定してください。

  インストールの方法については、「既存のポートを利用してインストールする」(P.26)「ローカルプリンターをインストールする」(P.27) を参照してください。

プリンターを一括でインストールする（標準セットアップ）

CD-ROM から「ドライバーインストールツール」を起動して、コンピューターにプリンターを追加する手順を説明します。

ここでは、Windows 2000 を例にインストール操作の手順を説明します。

補足　・ **インストール時に表示されるダイアログボックス内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止できます。また、［戻る］をクリックすると、そのダイアログボックスでの設定を取り消して、1 つ前のダイアログボックスに戻ることができます。**

1 **Windows 2000 を起動します。**

補足 ・「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Administrators」グループの詳細については、Windows 2000 に付属のマニュアルを参照してください。

2 **付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

［セットアップ方法の選択］画面が表示されます。

3 **［標準セットアップ］をクリックします。**

［プリンタ・複合機の選択］画面が表示されます。
同じサブネット内で TCP/IP または LPD接続されているプリンターが検索され、［検索されたプリンタ・複合機］に一覧が表示されます。

4 **［検索されたプリンタ・複合機］から、お使いの機種 にチェックマークをつけてください。**

補足 ・追加できるプリンターには、チェックマークがつきます。

補足 ・お使いになる機種が検索されなかった場合は次のことを確認してください。

＊プリンターの IP アドレスの確認
CIDR（Classless Inter Domain Routing）に対応している機種については、「CIDR に対応している機種一覧」を参照してください。CIDR に対応していない機種では、サブネットマスクを「255.255.240.0」と設定した場合も、「255.255.255.0」として動作します。

＊ SNMP UDP/IP ポートが起動されているか
それでも検索されない場合は、［戻る］をクリックして［カスタムセットアップ］をクリックし、作業を進めてください。

［カスタムセットアップ］については、
「TCP/IP ネットワークで接続されたプリンターをインストールする」（P.20）
「Windows ネットワークで接続されたプリンターをインストールする」（P.21）
「Windows サーバー上の共有プリンターをインストールする」（P.23）
「NetWare サーバー上の共有プリンターをインストールする」（P.24）
「既存のポートを利用してインストールする」（P.26）
「ローカルプリンターをインストールする」（P.27）
を参照してください。

プリンターは、複数選択できます。
表示されている機種名、IP アドレスを確認して対象プリンターを特定し、選択してください。
［検索されたプリンタ・複合機］に一覧表示されているプリンターを選択すると、左側にプリンターのグラフィックが表示されます。

5 **［次へ］をクリックします。**

［使用許諾条件への同意］画面が表示されます。

6 **内容を確認して、同意する場合は［同意する］をチェックして、［インストール］をクリックします。**

インストールを開始します。

追加しているプリンターのグラフィック、インストールしているプリンターの機種名、およびアドレスが表示されます。

セットアップが完了すると、[セットアップ完了] 画面が表示されます。

7 [追加/更新されたプリンタ]のリストの中から、お使いの機種を選択して、[テスト印刷] をクリックします。

プリンターからテスト印刷のページが印刷されます。

8 [完了] をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

9 [はい] をクリックします。

インストールが終了します。

TCP/IP ネットワークで接続されたプリンターをインストールする

LPR(TCP/IP) プリンターを指定してインストールします。

補足 ・インストール時に表示されるダイアログボックス内の [キャンセル] をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止できます。また、[戻る] をクリックすると、そのダイアログボックスでの設定を取り消して、1 つ前のダイアログボックスに戻ることができます。

1 Windows 2000 を起動します。

補足 ・「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Administrators」グループの詳細については、Windows 2000 に付属のマニュアルを参照してください。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

[セットアップ方法の選択] 画面が表示されます。

3 [カスタムセットアップ] をクリックします。

[プリンタ指定方法の選択] 画面が表示されます。

4 [LPD (TCP/IP) プリンタを指定する] を選択して、[次へ] をクリックします。

[LPD (TCP/IP) プリンタの指定] 画面が表示されます。

同じサブネット内で TCP/IP または LPD 接続されたプリンターが検索され、[指定できるプリンタ] に一覧が表示されます。

5 お使いの機種を [指定できるプリンタ] から選択して、[次へ] をクリックします。

インストールを確認するダイアログボックスが表示されます。

補足 ・[指定できるプリンタ] に目的のプリンターが表示されない場合は、お使いの環境によって、次の操作を行います。

IPv4 (インターネットプロトコル バージョン 4) を使用している場合：

IP アドレスまたはホスト名が分かっている場合は、[IP アドレス] または [ホスト名] をチェッ

クし、IP アドレスまたはホスト名を直接入力します。このとき、IP アドレスは「X.X.X.X」(X は 255 以下の数字。ピリオドの省略不可）の形式で入力してください。
プリンターを検索する場合は、[検索範囲] をクリックして、IP サブネットアドレスを指定します。(CIDR (Classless Inter Domain Routing) に対応している機種については、「CIDR に対応している機種一覧」を参照してください。CIDR に対応していない機種では、サブネットマスクを「255.255.240.0」と設定した場合も、「255.255.255.0」として動作します。)

IPv6（インターネットプロトコル バージョン 6）を使用している場合：

[IP アドレス] または [ホスト名] をチェックし、IP アドレスまたはホスト名を直接入力します。他のサブネット上にあるプリンターの IP アドレスを指定する場合は、必ずグローバルアドレスを指定してください。
検索範囲を指定したプリンターの検索はできません。

6 **設定を確認して、[はい] を選択します。**

[使用許諾条件への同意] 画面が表示されます。

7 **内容を確認して、同意する場合は [同意する] をチェックして、[インストール] をクリックします。**

インストールを開始します。

追加しているプリンターのグラフィック、インストールしているプリンターの機種名、およびアドレスが表示されます。

セットアップが完了すると、[セットアップ完了] 画面が表示されます。

8 **[テスト印刷] をクリックします。**

プリンターからテスト印刷のページが印刷されます。

9 **[完了] をクリックします。**

確認メッセージが表示されます。

10 [はい] をクリックします。

インストールが終了します。

Windows ネットワークで接続されたプリンターをインストールする

SMB プリンターを指定してインストールします。

TCP/IP プロトコルと NetBEUI プロトコルの場合の操作手順があります。

補足
- NetBEUI プロトコルは、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008 には対応していません。
- インストール時に表示されるダイアログボックス内の [キャンセル] をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止できます。また、[戻る] をクリックすると、そのダイアログボックスでの設定を取り消して、1 つ前のダイアログボックスに戻ることができます。

TCP/IP プロトコルを使用する場合

1 **Windows 2000 を起動します。**

補足
- 「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Administrators」グループの詳細については、Windows 2000 に付属のマニュアルを参照してください。

2 **付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

［セットアップ方法の選択］画面が表示されます。

3 ［カスタムセットアップ］をクリックします。

［プリンタ指定方法の選択］画面が表示されます。

4 ［SMB プリンタを指定する］を選択して、［次へ］をクリックします。

［SMB プリンタの指定］画面が表示されます。

5 ［ホスト名］に、対象プリンターのホスト名を入力するか、［指定できるプリンタ］から、お使いの機種を選択して、［次へ］をクリックします。

インストールを確認するダイアログボックスが表示されます。

補足 ・対象プリンターのホスト名は、機能設定リスト（プリンター設定リスト）を印刷すると、確認できます。
［指定できるプリンタ］にお使いの機種が表示されていない場合は、［ワークグループ］で、お使いの機種のワークグループ名または、ドメイン名を選択してから、［機種の選択］をクリックします。

6 設定を確認して、［はい］を選択します。
［次へ］をクリックします。

［使用許諾条件への同意］画面が表示されます。

7 内容を確認して、同意する場合は［同意する］をチェックして、［インストール］をクリックします。

インストールを開始します。

追加しているプリンターのグラフィック、インストールしているプリンターの機種名、およびアドレスが表示されます。

セットアップが完了すると、［セットアップ完了］画面が表示されます。

8 ［テスト印刷］をクリックします。

プリンターからテスト印刷のページが印刷されます。

9 ［完了］をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

10 ［はい］をクリックします。

インストールが終了します。

NetBEUI プロトコルを使用する場合

1 Windows 2000 を起動します。

補足 ・「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Administrators」グループの詳細については、Windows 2000 に付属のマニュアルを参照してください。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

［セットアップ方法の選択］画面が表示されます。

3 ［カスタムセットアップ］をクリックします。

［プリンタ指定方法の選択］画面が表示されます。

4 ［共有プリンタを指定する］を選択します。

［次へ］をクリックします。

［共有プリンタの指定］画面が表示されます。

5 ［共有名］にプリンター名を、「\\ コンピューター名 \ 共有プリンター名」の書式で入力、または、［参照］をクリックして表示される画面で共有プリンターを選択し、［次へ］をクリックします。

［プリンタの指定］画面が表示されます。

6 ［機種］を選択して、［次へ］をクリックします。

［使用許諾条件への同意］画面が表示されます。

補足 ・「IP アドレス / ホスト名 /IPX アドレスを入力しないで処理を続けますか？」というメッセージが表示されますが、［はい］をクリックしてください。「プリンタドライバで対応するプリンタのオプション（例：用紙トレイ数やフィニッシャーの有無など）を自動的に設定するには、IP アドレス / ホスト名 /IPX アドレスのいずれかの入力が必要です。

7 内容を確認して、同意する場合は［同意する］をチェックし、［インストール］をクリックします。

インストールを開始します。

追加しているプリンターのグラフィック、インストールしているプリンターの機種名、またはアドレスが表示されます。

セットアップが完了すると、［セットアップ完了］画面が表示されます。

8 ［プロパティ］をクリックして、デバイスオプションの設定をします。

補足 ・ オプションを必ず設定してください。
オプションの種類については、本体のマニュアルを参照してください。

9 ［テスト印刷］をクリックします。

プリンターのテスト印刷のページが印刷されます。

10 ［完了］をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

11 ［はい］をクリックします。

インストールが終了します。

Windows サーバー上の共有プリンターをインストールする

Windows サーバー上の共有プリンターを指定してインストールします。

補足 ・ インストール時に表示されるダイアログボックス内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止できます。また、［戻る］をクリックすると、そのダイアログボックスでの設定を取り消して、1 つ前のダイアログボックスに戻ることができます。

1 **Windows 2000 を起動します。**

補足 ・「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Administrators」グループの詳細については、Windows 2000 に付属のマニュアルを参照してください。

2 **付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

[セットアップ方法の選択] 画面が表示されます。

3 **[カスタムセットアップ] をクリックします。**

[プリンタ指定方法の選択] 画面が表示されます。

4 **[共有プリンタを指定する] を選択します。**

[次へ] をクリックします。

[共有プリンタの指定] 画面が表示されます。

5 **[共有名] にプリンター名を、「\\ コンピューター名 \ 共有プリンター名」の書式で入力、または、[参照] をクリックして表示される画面で共有プリンターを選択します。**

6 **[次へ] をクリックします。**
[使用許諾条件への同意] 画面が表示されます。

補足 ・指定したプリンターが確認できなかった場合は、[プリンタの指定] 画面が表示されます。[IP アドレス]、[ホスト名]、[IPX アドレス] のどれかを入力し、[お使いの機種] を選択して [次へ] をクリックします。確認するメッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。

7 **内容を確認して、同意する場合は [同意する] をチェックし、[インストール] をクリックします。**

インストールを開始します。

追加しているプリンターのグラフィック、インストールしているプリンターの機種名、またはアドレスが表示されます。

セットアップが完了すると、[セットアップ完了] 画面が表示されます。

8 **[テスト印刷] をクリックします。**

プリンターのテスト印刷のページが印刷されます。

9 **[完了] をクリックします。**

確認メッセージが表示されます。

10 [はい] をクリックします。

インストールが終了します。

NetWare サーバー上の共有プリンターをインストールする

NT/NetWare などの共有プリンターを指定してインストールします。

補足 ・インストール時に表示されるダイアログボックス内の [キャンセル] をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止できます。また、[戻る] をクリックすると、そのダイアログボックスでの設定を取り消して、1 つ前のダイアログボックスに戻ることができます。

1 **Windows 2000 を起動します。**

補足 ・「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Administrators」グループの詳細については、Windows 2000 に付属のマニュアルを参照してください。

2 **付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

[セットアップ方法の選択]画面が表示されます。

3 **[カスタムセットアップ]をクリックします。**

[プリンタ指定方法の選択]画面が表示されます。

4 **[共有プリンタを指定する]を選択し、[次へ]をクリックします。**

[共有プリンタの指定]画面が表示されます。

5 **[共有名]に対象プリンターが使用できるオブジェクトを、「\\ サーバー名 \ キュー名」または「\\ ツリー名 \ コンテキスト名 \・・・\ キュー名」の書式で入力するか、[参照]をクリックして表示される画面で共有プリンターを選択します。**

補足 ・「・・・」の部分は、ネットワークの環境によって設定してください。

6 **[次へ]をクリックします。**

補足 ・指定したプリンターが確認できなかった場合は、[プリンタの指定]画面が表示されます。[IP アドレス]、[ホスト名]、[IPX アドレス]のどれかを入力し、[お使いの機種]を選択して[次へ]をクリックします。確認するメッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。

7 **お使いの機種を選択して、[次へ]をクリックします。**

[使用許諾条件への同意]画面が表示されます。

8 **内容を確認して、同意する場合は[同意する]をチェックし、[インストール]をクリックします。**

インストールを開始します。

追加しているプリンターのグラフィック、インストールしているプリンターの機種名、およびアドレスが表示されます。

セットアップが完了すると、[セットアップ完了]画面が表示されます。

補足 ・インストール終了後に、オプションを必ず設定してください。
Windows の[スタート]メニューの[設定]→[プリンタ]の順にクリックします。インストールしたプリンターのプロパティを開いて、[プリンタ構成]タブでオプションを設定します。
オプションについては、本体のマニュアルを参照してください。

9 **[テスト印刷]をクリックします。**

プリンターからテスト印刷のページが印刷されます。

10 [完了]をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

11 [はい]をクリックします。

インストールが終了します。

既存のポートを利用してインストールする

コンピューター本体の既存のポートを指定してインストールします。プリンターオプションの自動設定は行われませんので、インストール後にプリンターのプロパティで設定してください。

補足 ・**インストール時に表示されるダイアログボックス内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止できます。また、［戻る］をクリックすると、そのダイアログボックスでの設定を取り消して、1 つ前のダイアログボックスに戻ることができます。**

1 Windows 2000 を起動します。

補足 ・**「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Administrators」グループの詳細については、Windows 2000 に付属のマニュアルを参照してください。**

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

［セットアップ方法の選択］画面が表示されます。

3 ［カスタムセットアップ］をクリックします。

［プリンタ指定方法の選択］画面が表示されます。

4 ［ローカルプリンタを指定する］を選択し、［次へ］をクリックします。

［ローカルプリンタの指定］画面が表示されます。

5 ［ポート］から既存のポートと［機種］から機種を選択し、［次へ］をクリックします。
［使用許諾条件への同意］画面が表示されます。

注記 ・次のホスト名は、選択しないでください。

IP アドレス（ホスト名）: ART
IP アドレス（ホスト名）: PS
IP アドレス（ホスト名）: エミュレーション

6 内容を確認して、同意する場合は［同意する］をチェックし、［インストール］をクリックします。

インストールを開始します。

追加しているプリンターのグラフィック、インストールしているプリンターの機種名、およびアドレスが表示されます。

セットアップが完了すると、［セットアップ完了］画面が表示されます。

7 ［テスト印刷］をクリックします。

プリンターからテスト印刷のページが印刷されます。

補足 ・**［通常使うプリンタの設定］で選択されているプリンターが、通常使うプリンターになります。**
・［追加 / 更新されたプリンタ］のリストで選択しているプリンターが 1 つで、Windows 2000 / XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008 のときには、共有の設定をクリックすると、そのプリンターを共有プリンターに設定できます。
・［プリンタ名の変更］をクリックして表示される画面で、プリンター名を変更できます。
・［追加 / 更新されたプリンタ］のリストで選択しているプリンターが 1 つの場合は、［プロパティ］をクリックして表示される画面で、プリンターのプロパティを確認できます。
・［印刷指示の設定］をクリックして表示されるプリンターのプロパティで、設定情報を変更できます。
・［繰り返し］をクリックすると起動画面に戻り、続けてほかのプリンターを追加できます。

8 ［完了］をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

9 ［はい］をクリックします。

インストールが終了します。

ローカルプリンターをインストールする

コンピューター本体のパラレルポートを指定してインストールします。プリンターのオプションの自動設定はおこなわれませんので、インストール後にプリンタープロパティで設定してください。
あらかじめ、お使いの機種のマニュアルを参照して、「機能設定リスト（プリンター設定リスト）」を用意してください。

補足 ・インストール時に表示されるダイアログボックス内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止できます。また、［戻る］をクリックすると、そのダイアログボックスでの設定を取り消して、1つ前のダイアログボックスに戻ることができます。

1 Windows 2000を起動します。

補足 ・「Administrators」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Administrators」グループの詳細については、Windows 2000に付属のマニュアルを参照してください。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

［セットアップ方法の選択］画面が表示されます。

3 ［カスタムセットアップ］をクリックします。

［プリンタ指定方法の選択］画面が表示されます。

4 ［ローカルプリンタを指定する］を選択し、［次へ］をクリックします。

［ローカルプリンタの指定］画面が表示されます。

5 ［ポート］から既存のポートと［機種］から機種を選択し、［次へ］をクリックします。

［使用許諾条件への同意］画面が表示されます。

注記 ・この方法で追加したプリンターは「ドキュメントモニター」を使用しても、プリンターの状態やユーザー自身が印刷を指示したドキュメントの状態を取得できません。

6 内容を確認して、同意する場合は［同意する］をチェックし、［インストール］をクリックします。

インストールを開始します。

追加しているプリンターのグラフィック、インストールしているプリンターの機種名、およびアドレスが表示されます。

セットアップが完了すると、［セットアップ完了］画面が表示されます。

7 ［プロパティ］をクリックして、デバイスオプションの設定をします。

注記 ・オプションを必ず設定してください。
オプションの種類については、お使いの機種のマニュアルを参照してください。

8 ［テスト印刷］をクリックします。

プリンターからテスト印刷のページが印刷されます。

9 ［完了］をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

10 ［はい］をクリックします。

インストールが終了します。

補足 ・インストール終了後に、オプションを必ず設定してください。
Windows の［スタート］メニューの［設定］→［プリンタ］の順にクリックします。（Windows XP、Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューの［プリンタと FAX］の順にクリックします。）インストールしたプリンターのプロパティを開いて、［プリンタ構成］タブでオプションを設定します。
オプションについては、お使いの機種のマニュアルを参照してください。

Windows Vista の場合は、［スタート］メニューの［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］をクリックします。インストールしたプリンターを右クリックし、［管理者として実行］→［プロパティ］をクリックします。［ユーザー アカウント制御］ダイアログボックスが表示されるので、［続行］をクリックします。［プロパティ］ダイアログボックスが表示されるので、［プリンタ構成］タブでオプションを設定します。
オプションについては、お使いの機種のマニュアルを参照してください。

［プリンタの追加］を使ってインストールする

Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 をお使いの場合

ここでは、Windows 2000、Windows XP 、Windows Server 2003 へのプリンタードライバーのインストール方法と、設定が必要な項目、印刷時に指定できる項目について説明します。

日本語版の Microsoft 社製 PostScript Driver に弊社機の機能を追加したプリンタードライバーをインストールします。

ここでは、Windows 2000 を例にインストール操作の手順を説明します。

補足 ・インストール時に表示されるダイアログボックス内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止できます。また、［戻る］をクリックすると、そのダイアログボックスでの設定を取り消して、1 つ前のダイアログボックスに戻ることができます。

1 Windows 2000 を起動します。

補足 ・「Power User」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Power User」グループの詳細については、Windows 2000 に付属のマニュアルを参照してください。

2 ［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

補足 ・Windows XP、Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

3 ［プリンタの追加］を開きます。

補足 ・Windows XP、Windows Server 2003 の場合は、［プリンタのタスク］から［プリンタのインストール］を選択します。

「プリンタの追加」ウィザードが起動します。

4 ［次へ］をクリックします。

プリンターの接続方法を選択する画面が表示されます。

5 プリンターの接続方法を選択し、［次へ］をクリックします。

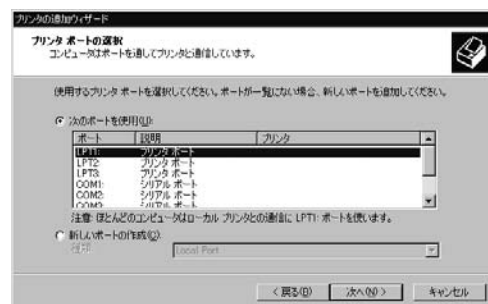
プリンターが直接コンピューターに接続されているとき、またはプリンターが TCP/IP 環境にネットワークプリンターとして接続されているときは、Windows 2000 の場合は［ローカルプリンタ］を選択します。それ以外は、［ネットワークプリンタ］を選択します。

補足
- **Windows XP、Windows Server 2003 の場合は［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択します。それ以外は、［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択します。**
- ［ローカルプリンタ］、または［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択した場合は、［プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスをオフにしてください。
- ［ネットワークプリンタ］、または［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択した場合は、［プリンタの接続］ダイアログボックスで対象プリンターを設定します

ポートを選択する画面が表示されます。

6 使用するポートを選択し、［次へ］をクリックします。

■LPR　プロトコルを使用してプリンターに直接接続する場合

1）［新しいポートの作成］をクリックします。

2）［種類］メニューから［Standard TCP/IP Port］を選択して、［次へ］をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加」ウィザードが起動します。

3) ［次へ］をクリックします。

4) ［プリンタ名または IP アドレス］にプリンターの IP アドレスを入力して、［次へ］をクリックします。

5) 「ポート情報が更に必要です。」と表示された場合は、［デバイスの種類］の［標準］で、お使いの機種のシリーズ名を選択してください。

表示されるダイアログボックスで、［完了］をクリックします。

プリンターの製造元とモデルを選択する画面が表示されます。

7 「PostScript Driver Library」の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。

8 ［ディスク使用］をクリックします。

［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。

9 x32 の場合は「x:\Japanese\Win2K_Vista\DocuPrint_4050」、x64 の場合は「x:\Japanese\WinX64\DocuPrint_4050」と入力し［OK］をクリックします。

補足
- **ここでは、CD-ROM のドライブ名を「x:」として説明しています。CD-ROM をセットした CD-ROM ドライブ名を指定してください。**
- 英語版のドライバーを指定するときは「Japanese」の代わりに「English」と指定します。
- ［参照］をクリックして、CD-ROM 内のフォルダーを直接指定することもできます。

プリンターを選択する画面が表示されます。

10 ［プリンタ］一覧の中から、機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせてモデルを選択して、［次へ］をクリックします。

ここでは、DocuPrint 4050 PS J2 を選択した例で説明します。

［プリンタ］に表示されるモデル名とお使いの機種との対応については、「プリンタードライバーインストール時のプリンター名について」(P.10) を参照してください。

プリンター名と通常使うプリンターを指定する画面が表示されます。

11 プリンター名を入力し､通常使うプリンターに設定するかどうかを設定して､［次へ］をクリックします。

プリンターの共有を設定する画面が表示されます。

12 ここでは、［このプリンタを共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

補足　・ **コンピューターへのインストールは各 OS 用の手順で、コンピューターごとにインストールすることをお勧めします。**

テストページの印刷を指定する画面が表示されます。

13 ［はい］、または［いいえ］を選択して、［次へ］をクリックします。

インストール完了の画面が表示されます。

14 ［完了］をクリックします。

補足　・ **Windows 2000 の場合､「デジタル署名が見つかりませんでした」というダイアログボックスが表示されますが、［はい］をクリックして、インストールを続けてください。**

・ Windows XP、または Windows Server 2003 の場合、「ハードウェアのインストール」というダイアログボックスが表示されますが、［続行］をクリックして、インストールを続けてください。

必要なファイルのコピーが開始されます。

15 コピーが終了したら、[プリンタ]ウィンドウに、プリンターが追加されたことを確認します。

補足 ・ インストール終了後に、オプションを必ず設定してください。
Windows の［スタート］メニューの［設定］→［プリンタ］の順にクリックします。(Windows XP、Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューの［プリンタと FAX］の順にクリックします。）インストールしたプリンターのプロパティを開いて、［プリンタ構成］タブでオプションを設定します。
オプションについては、お使いの機種のマニュアルを参照してください。

Windows Vista の場合は、［スタート］メニューの［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］をクリックします。インストールしたプリンターを右クリックし、［管理者として実行］→［プロパティ］をクリックします。［ユーザー アカウント制御］ダイアログボックスが表示されるので、［続行］をクリックします。［プロパティ］ダイアログボックスが表示されるので、［プリンタ構成］タブでオプションを設定します。
オプションについては、お使いの機種のマニュアルを参照してください。

これで、プリンタードライバーのインストールが終了しました。CD-ROM を取り出してください。

続けて、「Windows」(P.60) を参照して、プリンタードライバーを設定します。

使用した CD-ROM は、大切に保管してください。

Windows Vista、Windows Server 2008 をお使いの場合

ここでは、Windows Vista、Windows Server 2008 へのプリンタードライバーのインストール方法と、設定が必要な項目、印刷時に指定できる項目について説明します。

日本語版の Microsoft 社製 PostScript Driver に弊社機の機能を追加したプリンタードライバーをインストールします。
ここでは、Windows Vista を例にインストール操作の手順を説明します。

補足 ・ インストール時に表示されるダイアログボックス内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止できます。また、［戻る］をクリックすると、そのダイアログボックスでの設定を取り消して、1 つ前のダイアログボックスに戻ることができます。

1 **Windows Vista を起動します。**

補足 ・ 管理者アカウントでログインしてください。

2 **［スタート］メニューから、［コントロールパネル］を選択します。**

［コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。

3 **［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］を選択します。**

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

4 ［プリンタのインストール］を選択します。

「プリンタの追加」ウィザードが起動し、プリンターの接続方法を選択する画面が表示されます。

5 プリンターの接続方法を選択し、［次へ］をクリックします。

プリンターが直接コンピューターに接続されているとき、またはプリンターが TCP/IP 環境にネットワークプリンターとして接続されているときは、［ローカルプリンタを追加します］を選択します。それ以外は、［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］を選択します。

補足 ・［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］を選択した場合は、［プリンタ名または TCP/IP アドレスでプリンタを検索］ダイアログボックスで対象プリンターを設定します。

ポートを選択する画面が表示されます。

6 使用するポートを選択し、［次へ］をクリックします。

■LPR プロトコルを使用してプリンターに直接接続する場合

1）［新しいポートの作成］をクリックします。

2）［ポートの種類］で［Standard TCP/IP Port］を選択して、［次へ］をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加」ウィザードが起動します。

3）［プリンタ名またはIPアドレス］にプリンターの IPアドレスを入力して、［次へ］をクリックします。

4）「ポート情報が更に必要です。」と表示された場合は、［デバイスの種類］の［標準］で、お使いの機種のシリーズ名を選択してください。

5）表示されるダイアログボックスで、［完了］をクリックします。

■USB ポートを使用する場合

USB ポートを使用するときは、ここでは［LPT1］を選択してください。プリンタードライバーのインストールが終了したら、USB ポートを設定してください。

USB ポートの設定については、「USB ポートを利用するには」(P.37) を参照してください。

プリンターの製造元とモデルを選択する画面が表示されます。

7 **「PostScript Driver Library」の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。**

8 **[ディスク使用] をクリックします。**

[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されます。

9 **x32 の場合は「x:\Japanese\Win2K_Vista\DocuPrint_4050」、x64 の場合は「x:\Japanese\WinX64\DocuPrint_4050」と入力し、[OK] をクリックします。**

補足
- **ここでは、CD-ROM のドライブ名を「x:」として説明しています。CD-ROM をセットした CD-ROM ドライブ名を指定してください。**
- 英語版のドライバーを指定するときは「Japanese」の代わりに「English」と指定します。
- [参照] をクリックして、CD-ROM 内のフォルダーを直接指定することもできます。

プリンターを選択する画面が表示されます。

10 [プリンタ] 一覧の中から、機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせてモデルを選択して、[次へ] をクリックします。

ここでは、DocuPrint 4050 PS J2 を選択した例で説明します。

[プリンタ]に表示されるモデル名とお使いの機種との対応については、「プリンタードライバーインストール時のプリンター名について」(P.10)を参照してください。

プリンター名と通常使うプリンターを指定する画面が表示されます。

11 プリンター名を入力し、通常使うプリンターに設定するかどうかを設定して、[次へ] をクリックします。

必要なファイルがコピーされ、テストページの印刷を指定する画面が表示されます。

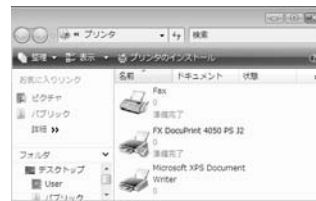
12 ここでは、[このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

補足 ・**コンピューターへのインストールは各 OS 用の手順で、コンピューターごとにインストールすることをお勧めします。**

13 テスト印刷をする場合、[テストページの印刷]を選択してください。

14 [完了]をクリックします。

補足 ・**「デジタル署名が見つかりませんでした」というダイアログボックスが表示されますが、[はい]をクリックして、インストールを続けてください。**

15 コピーが終了したら、[プリンタ]ウィンドウに、プリンターが追加されたことを確認します。

補足 ・**インストール終了後に、オプションを必ず設定してください。**
Windows の[スタート]メニューの[設定]→[プリンタ]の順にクリックします。(Windows XP、Windows Server 2003 の場合は、[スタート]メニューの[プリンタと FAX]の順にクリックします。)インストールしたプリンターのプロパティを開いて、[プリンタ構成]タブでオプションを設定します。
オプションについては、お使いの機種のマニュアルを参照してください。

Windows Vista の場合は、[スタート]メニューの[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[プリンタ]をクリックします。インストールしたプリンターを右クリックし、[管理者として実行]→[プロパティ]をクリックします。[ユーザー アカウント制御]ダイアログボックスが表示されるので、[続行]をクリックします。[プロパティ]ダイアログボックスが表示されるので、[プリンタ構成]タブでオプションを設定します。
オプションについては、お使いの機種のマニュアルを参照してください。

これで、プリンタードライバーのインストールが終了しました。CD-ROM を取り出してください。

続けて、「Windows」(P.60)を参照して、プリンタードライバーを設定します。

注記 ・使用した CD-ROM は、大切に保管してください。

ヘルプの使い方

ヘルプの使い方は、次のとおりです。

プロパティダイアログボックスでヘルプを使う

補足　・Windows 2000、Windows XP、および Windows Server 2003 をお使いの場合に利用できます。

1　［スタート］メニューから［コントロール パネル］＞［プリンタと FAX］の順に選択します。

2　プリンターアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択します。

プロパティダイアログボックスが表示されます。

［初期設定 ］タブを開きます。

右下にある［ヘルプを］をクリックします。ヘルプが表示されます。

補足　・プロパティダイアログボックスの右上にある ? をクリックすると、マウスポインターの横に ? マークの表示が現れます。その状態で、説明を見たい項目をクリックすると、ポップアップウィンドウが表示されて、その項目に関する情報が表示されます。

印刷設定ダイアログボックスでヘルプを使う

補足　・Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、および Windows Server 2008 をお使いの場合に利用できます。

1　［スタート］メニューから［コントロール パネル］＞［プリンタと FAX］の順に選択します。

2　プリンターアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［印刷設定］を選択します。

印刷設定ダイアログボックスが表示されます。

3　［ヘルプ］をクリックします。

ヘルプが表示されます。

補足　・ダイアログボックスの右上に、? が表示される場合は、クリックすると、マウスポインターの横に ? マークの表示が現れます。その状態で、説明を見たい項目をクリックすると、ヘルプが表示されて、その項目に関する情報が表示されます。

USB ポートを利用するには

Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、および Windows Server 2008 がインストールされたコンピューターから USB ポートを利用して印刷する場合の設定を説明します。

注記 ・ ここで追加されたプリンターは、「ドキュメントモニター」を使ってプリンターの状態を監視することはできません。

補足 ・ USB ポートを利用できる機種については、、ドライバー CD キットの CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

1 **プリンターの USB インターフェイスコネクターに、USB ケーブルを接続します。**

2 **コンピューターの USB インターフェイスコネクターに、USB ケーブルを接続します。**

3 **プリンターの電源をいれます。**

［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

4 **[一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] を選択し、[次へ] をクリックします。**

5 **［次の場所で最適なドライバを検索する］を選択します。**

6 **[リムーバブル メディア (フロッピー、CD-ROM など) を検索] にチェックし、[次へ] をクリックします。**

7 **［完了］をクリックします。**

プリンタードライバーがインストールされます。

8 **［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックします。**

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

補足 ・ Windows XP または Windows Server 2003 では、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
・ Windows Vista または Windows Server 2008 では、［スタート］メニューから［コントロールパネル］、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］を選択します。

9 **手順 1 でインストールしたプリンターアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。**

［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

10 ［ポート］タブの［印刷するポート］にお使いのプリンター用のUSBポートが追加されていることを確認します。

11 ［全般］タブの［テストページの印刷］をクリックします。

正しく印刷できたかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。

12 印刷結果を確認し、正しく印刷されていれば、［はい］をクリックします。

13 ［プリンタ構成］タブ、または［デバイスの設定］タブで、機器に装着されているオプション構成を、プリンタードライバーに認識させるための設定をします。

14 ［プロパティ］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

これでプリンターを使用するための設定は完了です。

プリンタードライバーを更新するには

CD-ROM から「ドライバーインストールツール」を起動して、プリンタードライバーを更新する手順を説明します。

補足　・ **インストール時に表示されるダイアログボックス内の［キャンセル］をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止します。また、［戻る］をクリックすると、そのダイアログボックスでの設定を取り消して、1 つ前のダイアログボックスに戻ります。**

1 **付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

［セットアップ方法の選択］画面が表示されます。

2 **［プリンタドライバの更新］をクリックします。**

［プリンタ・プリンタドライバを更新するプリンタの選択］画面が表示されます。

3 **プリンタードライバーを更新するプリンターを、一覧から選択し、［次へ］をクリックします。**

［使用許諾条件への同意］画面が表示されます。

4 **内容を確認して、［同意する］をチェックし、［インストール］をクリックします。**

インストールを開始します。

追加しているプリンターのグラフィック、インストールしているプリンターの機種名、およびアドレスが表示されます。

セットアップが完了すると、［セットアップ完了］画面が表示されます。

5 **［テスト印刷］をクリックします。**

テストページが印刷されます。

6 **［完了］をクリックすると、確認メッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。**

3 Macintosh でのインストール

- 付属の CD-ROM について..42
- ソフトウエアの動作環境..43
- プリンタードライバーのインストール 44
  - Mac OS 8.6-9.2.2 へのインストール方法 44
  - Mac OS 8.6-9.2.2 の PPD ファイルの設定 45
  - Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5 用 PPD ファイルのインストール 48
  - Mac OS X 10.3.9-10.4.11 プリンターの追加 50
  - Mac OS X 10.5 プリンターの追加 53
- スクリーンフォントのインストール 57

付属の CD-ROM について

付属の CD-ROM（PostScript Driver Library）の中に同梱されているものは、次のとおりです。

補足 • CD-ROM の種類によっては「DocuPrint_4050」フォルダーがない場合があります。そのような場合には「DocuPrint_4050」を「Other」と読みかえてください。
• MacOSX 10.4.7 はサポートしていません。

■「MacOS8.6-9.2.2」フォルダー内の「DocuPrint_4050」フォルダー

Adobe 社製 PostScriptDriver のファイルが入っています。

- AdobePS88J Installer : Mac OS 8.6-9.2.2 日本語版用
- readme ファイル

■「MacOSX10.3.9-10.4」フォルダー内の「DocuPrint_4050」フォルダー

Mac OS X 10.3.9-10.4.11 用のフォルダーに、PPD インストールパッケージが入っています。

- Fuji Xerox Plug-in Installer : Mac OS X 10.3.9-10.4.11
- readme ファイル

■「MacOSX10.5」フォルダー内の「DocuPrint_4050」フォルダー

Mac OS X 10.5 用のフォルダーに、PPD インストールパッケージが入っています。

- Fuji Xerox Plug-in Installer : Mac OS X 10.5 用
- readme ファイル

■「MacPPD」フォルダー内の「DocuPrint_4050」フォルダー

プリンタードライバーの設定（AdobePS 8.8J 以外）などで使用するプリンタ記述ファイルが入っています。

■「Utility」フォルダー内の「FujiXeroxPSUtility」フォルダー

Fuji Xerox PS Utility を使用すると、Macintosh からプリンターの設定ができます。Fuji Xerox PS Utility は、Mac os 8.6-9.2.2 日本語版で動作します。ただし、Mac OS X では、Classic 環境で動作します。

補足 • Fuji Xerox PS Utility については、「お読みください」を参照してください。

■「Utility」フォルダー内の「MacScreenFont」フォルダー

Macintosh で使用するスクリーンフォントです。お使いの PostScript ソフトウエアキットに合わせたフォントをインストールします。

■「Utility」フォルダー内の「MacAR7」フォルダー

Macintosh 用の Adobe Reader(7.0.9J）が入っています。

■「MacColorSync」フォルダー内の「DocuPrint_4050」フォルダー

Macintosh 用の ICC プロファイルが入っています。

■readme ファイル

お問い合わせ先や、注意事項などが記載されています。必ずお読みください。

ソフトウエアの動作環境

Macintosh 用のプリンタードライバーとユーティリティーの動作環境は、次のとおりです。

■プリンタードライバー

- AdobePS 8.8J　　:Mac OS 8.6-9.2.2 日本語版用

■PPD インストールパッケージ

- NEC Plug-in Installer　:Mac OS X 10.3.9-10.4.11
  :Mac OS X 10.5

■ユーティリティー

- Fuji Xerox PS Utility　　:Mac OS 8.6-9.2.2 日本語版用

補足 • Mac OS X では、Classic 環境で動作します。

USB ポートを使用する場合

- Mac OS 8.6-9.2.2 日本語版
- Mac OS X 10.3.9-10.4.11
- Mac OS X 10.5

プリンタードライバーのインストール

Mac OS 8.6-9.2.2 日本語版へ Adobe 社製 AdobePS ドライバーをインストールする方法と、Mac OS X のプリンターの追加方法について説明します。

補足 ・Mac OS X をお使いの場合は、プリンタードライバーのインストールは必要ありません。OS に付属の Adobe 社製 PostScript ドライバーを使用します。

プリンタードライバーをインストールする前に、プリンター側で使用環境に合わせて EtherTalk ポート、または USB ポートが起動に設定されていることを確認してください。詳しくは、プリンターに同梱されているマニュアルを参照してください。

Mac OS 8.6-9.2.2 へのインストール方法

Adobe 社製 AdobePS ドライバーのインストール手順を説明します。

お使いの OS によって、インストールするプリンタードライバーが異なります。

■Mac OS 8.6-9.2.2 日本語版をお使いの場合

「AdobePS88J Installer」（AdobePS 8.8J 用）を使用してください。

ここでは、Mac OS 9.2.2 日本語版に「AdobePS 8.8J」をインストールする手順を例に説明します。

注記 ・同じフォルダーに入っている「readme.txt」には、インストール方法や、そのほか詳細な事項が記載されています。必ずお読みください。

1 Macintosh を起動します。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

デスクトップ上に［FXOPS-PS］アイコンが表示されます。

3 ［FXOPS-PS］アイコンをダブルクリックします。

［FXOPS-PS］ウィンドウが表示されます。

4 「Japanese」フォルダー＞「MacOS8.6-9.2.2」フォルダー＞「DocuPrint_4050」フォルダーの順番に開きます。

補足 ・付属の CD-ROM によっては、「DocuPrint_4050」フォルダーがない場合があります。そのような場合には「DocuPrint_4050」フォルダーを「Other」フォルダーと読みかえてください。

5 「mac88jps.sea.hqx」を StuffIt Expander™ を使用して解凍します。

補足 ・「mac88jps.sea.hqx」の解凍には、StuffIt Expander™ が必要です。

6 「AdobePS について」ファイルを開き、Adobe Printer Driver に関する情報を読みます。

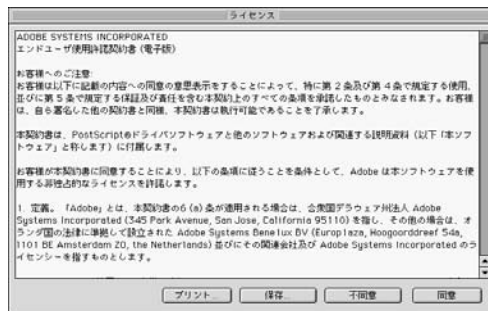
7 ［AdobePS 88J Installer］のプログラムアイコンをダブルクリックします。

インストーラーが起動します。

8 ［続ける］をクリックします。

［ライセンス］画面が表示されます。

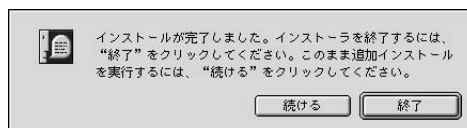
9 内容を確認し、同意する場合は、［同意］をクリックします。

［AdobePS 88J Installer］画面が表示されます。

10 ［インストールの場所］を確認し、必要に応じて変更してから、［インストール］をクリックします。

インストールが始まります。

11 ［終了］をクリックします。

これで、AdobePS 88J のインストールが終了しました。

続けて、「Mac OS 8.6-9.2.2 の PPD ファイルの設定」(P.45) を参照して、プリンタードライバーを設定します。

Mac OS 8.6-9.2.2 の PPD ファイルの設定

AdobePS ドライバーのインストールが終了したら、プリンタードライバーに本機種用の PostScript プリンタ記述（PPD）ファイルを設定します。

プリンタードライバーは、PPD ファイルの中にある情報をもとに、プリンターの機能をコントロールします。

使用環境によって、手順が異なります。

EtherTalk を使用する場合

1 プリンターの EtherTalk のポート状態が［起動］で、EtherTalk のプリントモード指定が［PS］（PostScript）に設定されていることを確認します。

EtherTalk の設定については、プリンターに同梱されているマニュアルを参照してください。また、お使いの機種によっては、プリントモード指定が不要な場合があります。

2 ［アップル］メニューから［セレクタ］を選択し、［AdobePS］を選択します。

3 セレクタの右側に表示されている［PostScript プリンタの選択］リストからプリンターを選択し、［作成］をクリックします。

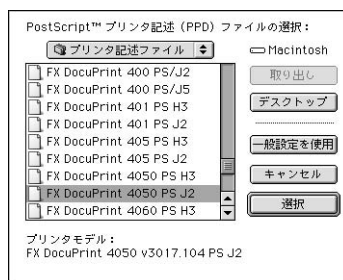
補足 ・ホスト装置とプリンターの接続環境によっては、表示される画面が異なることがあります。

自動的にプリンターが検索され、PPD ファイルが設定されます。

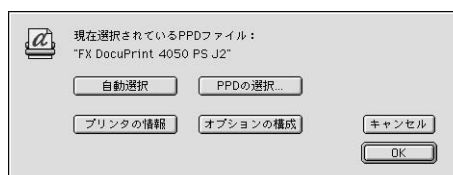
■PPD ファイルが自動的に検索されない場合

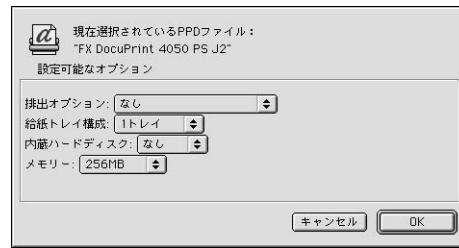
［PostScript プリンタ記述（PPD）ファイルの選択］ダイアログボックスが表示されます。一覧の中から、機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせてPPDファイルを選択し、［選択］をクリックします。

表示される PPD ファイル名とお使いの機種との対応については、「プリンターに対応した PPD ファイル名について」(P.11) を参照してください。

お使いのプリンター用の PPD ファイルが設定されます。

4 続けて、オプションを設定します。セレクタで［再設定］をクリックします。

補足 ・印刷のための設定は、プリンタードライバーのインストール後でも、任意に変更できます。
・オプションの機能を使用するためには、［オプションの構成］を設定する必要があります。プリンターの構成に合わせて、必ず設定をしてください。なお、通常は［設定可能なオプション］は、プリンターとの双方向通信によって自動的に設定されます。ユーザーが設定を変える必要はありません。

5 ［オプションの構成］をクリックします。

6 オプションを設定します。

オプションについては、「プリンターオプションの設定」(P.83) を参照してください。

7 ［OK］をクリックし、次の画面でも［OK］をクリックします。

8 セレクタを終了します。

USB ポートを使用する場合

1 USB ケーブルが接続されている場合は、いったん取り外します。

2 Macintosh の電源が入っていることを確認して、プリンターの電源を切ります。

3 Macintosh とプリンターを USB ケーブルで接続します。

4 プリンターの電源を入れます。

5 ［デスクトップ・プリンタ Utility］を起動します。

［デスクトップ・プリンタ Utility］が起動し、［新規］ダイアログボックスが表示されます。

補足 ・［デスクトップ・プリンタ Utility］は、Macintosh のハードディスクの中にある「AdobePS Components」フォルダーにあります。

6 ［プリンタ］から［AdobePS］、［デスクトップに作成］から［プリンタ (USB)］を選択して、［OK］をクリックします。

プリンターを設定するダイアログボックスが表示されます。

7 ［USB プリンタの選択］の［変更］をクリックします。

［USB プリンタ］ダイアログボックスが表示されます。

8 **リストからプリンターを選択して、［OK］をクリックします。**

ここでは、DocuPrint 4050 を選択した例で説明します。

9 **［PostScript™ プリンタ記述（PPD）ファイル］の［自動設定］をクリックします。**

［PostScript™ プリンタ記述（PPD）ファイルの選択］ダイアログボックスが表示されます。

10 **一覧の中から､機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせて PPD ファイルを選択して、［選択］をクリックします。**

表示される PPD ファイル名とお使いの機種との対応については､「プリンターに対応した PPD ファイル名について」(P.11) を参照してください。

お使いのプリンター用の PPD ファイルが設定されます。

11 **［作成］をクリックします。**

12 **表示されたダイアログボックスで、プリンター名と保存場所を指定して、［保存］をクリックします。**

設定が保存され、プリンターが作成されます。

13 **オプションを設定します。**

オプションについては､「プリンターオプションの設定」(P.83) を参照してください。

補足
- 印刷のための設定は、プリンタードライバーのインストール後でも、任意に変更できます。
- オプションの機能を使用するためには、オプションを設定する必要があります。プリンターの構成に合わせて、必ず設定をしてください。なお、通常は、プリンターとの双方向通信によって自動的に設定されます。ユーザーが設定を変える必要はありません。

Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5 用 PPD ファイルのインストール

Mac OS X 用の PostScript プリンタ記述（PPD）ファイルを Mac OS X の Macintosh にインストールします。

ここでは、Mac OS X v10.3.9 を例に説明します。

補足
- Mac OS X は、プリンタードライバーのインストールは必要ありません。OS に付属の Adobe 社製 PostScript ドライバーを使用します。
- PPD ファイルは Mac OS X 10.1.7 には対応していません。

1 **Macintosh を起動します。**

2 **付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

デスクトップ上に［FXOPS-PS］アイコンが表示されます。

3 **［FXOPS-PS］アイコンを開きます。**

［FXOPS-PS］ウィンドウが表示されます。

4 Mac OS X 10.3.9-10.4.11 をお使いの場合は、「Japanese」フォルダー＞「MacOSX10.3.9-10.4」フォルダー＞「DocuPrint_4050」フォルダーの順に選択し、「mac103ps.dmg」をダブルクリックします。

Mac OS X 10.5 をお使いの場合は、「Japanese」フォルダー＞「MacOSX10.5」フォルダー＞「DocuPrint_4050」フォルダーの順に選択し、「mac105ps.dmg」をダブルクリックします。

補足 ・付属の CD-ROM によっては、「DocuPrint_4050」フォルダーがない場合があります。そのような場合には「DocuPrint_4050」フォルダーを「Other」フォルダーと読みかえてください。

5 表示されたフォルダーの中から「readme」ファイルを開き、インストーラーに関する情報を読みます。

6 ［Fuji Xerox Plug-in Installer］のプログラムアイコンを開きます。

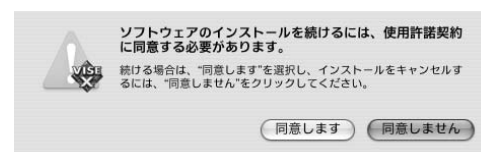
インストーラーが起動し、［認証］画面が表示されます。

7 管理者の名前とパスワードを入力して、［OK］をクリックします。

［ライセンス］画面が表示されます。

8 ［続ける］をクリックします。

使用許諾に同意する画面が表示されるので、内容を確認します。

9 内容に同意する場合は、［同意します］をクリックします。

10 ［インストールの種類］を確認し、［インストール］をクリックします。

インストールが始まります。

11 **インストールが完了したことを示すダイヤログボックスが表示されたら、[終了] をクリックします。**

これで、PPD ファイルのインストールが終了しました。

続けて、「Mac OS X 10.3.9-10.4.11 プリンターの追加」(P.50) または「Mac OS X 10.5 プリンターの追加」(P.53) を参照して、プリンターを追加します。

Mac OS X 10.3.9-10.4.11 プリンターの追加

PPD ファイルのインストールが終了したら、プリンタードライバーに PPD ファイルを設定し、プリンターを追加します。

プリンタードライバーは、PPD ファイルの中にある情報をもとに、プリンターの機能をコントロールします。

ここでは、Mac OS X v10.3.9 を例に説明します。

1 **USB ポートを使用する場合は、次の手順を行ってください。USB ポートを使用しない場合は、手順 2 に進みます。**

1) USB ケーブルが接続されているときは、いったん取り外します。

2) Macintosh の電源が入っていることを確認して、プリンターの電源を切ります。

3) Macintosh とプリンターを USB ケーブルで接続します。

4) プリンターの電源を入れます。

2 **プリンターのポートの設定を確認します。**

■AppleTalk を使用する場合

[EtherTalk] を起動して、EtherTalk のプリントモード指定が PS(PostScript)に設定されていることを確認します。

■IP を使用する場合

[LPD] を起動します。

補足 ・ IP ネットワーク上のプリンターを自動的に検出できます。ディスカバリー機能を有効にしたい場合は、[Bonjour] を起動してください。

■[USB-1(2.0)] または [USB-2 (2.0)] を使用する場合

[USB] を起動します。

プリンター側の設定については、プリンターに同梱されているマニュアルを参照してください。また、お使いの機種によっては、プリントモード指定が不要な場合があります。

3 **[プリンタ設定ユーティリティ] を起動します。**

[プリンタリスト] 画面が表示されます。

4 **［追加］をクリックします。**

5 **プリンターと接続するためのプロトコルを選択します。**

■AppleTalk を使用する場合

1) メニューから［AppleTalk］を選択し、使用するプリンターのゾーンを指定します。

2) 一覧の中から、使用するプリンターを選択します。

3)［自動選択］を選択して、手順 6) に進みます。

自動選択できない場合は、［その他］を選択し、手順 4) に進みます。

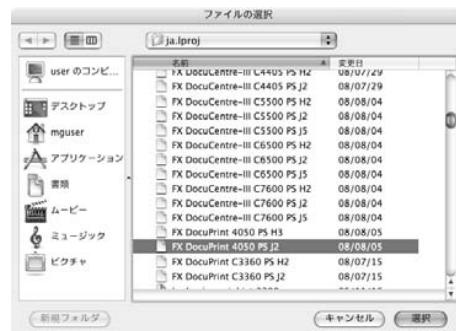
ファイル選択の画面が表示されます。

4) Mac OS X が起動しているボリュームの「/Library/printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj」を表示します。

5) 機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせて PPD ファイルを選択して、［選択］をクリックします。

ここでは、DocuPrint 4050 PS J2 を選択した例で説明します。

お使いのプリンター用の PPD ファイルが設定されます。

表示される PPD ファイル名とお使いの機種との対応については、「プリンターに対応した PPD ファイル名について」(P.11) を参照してください。

6)［追加］をクリックします。

■IP を使用する場合

ここでは、Mac OS X v10.3.9 を例に記載しています。

1) メニューから［IP プリント］を選択し、［プリンタのアドレス］にお使いのプリンターの IP アドレスを入力します。

2)［プリンタの機種］から、［その他］を選択します。

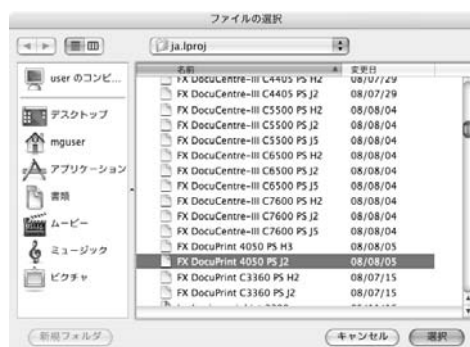
ファイル選択の画面が表示されます。

3) Mac OS X が起動しているボリュームの「/Library/printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj」を表示します。

4) 機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせて PPD ファイルを選択して、［選択］をクリックします。

ここでは、DocuPrint 4050 PS J2 を選択した例で説明します。

お使いのプリンター用の PPD ファイルが設定されます。

表示される PPD ファイル名とお使いの機種との対応については、「プリンターに対応した PPD ファイル名について」（P.11）を参照してください。

5)［追加］をクリックします。

■［USB-1(2.0)］または［USB-2（2.0)］を使用する場合

1) メニューから［USB］を選択します。

2) 一覧の中から、使用するプリンターを選択します。

3)［プリンタの機種］から、［自動選択］を選択します。

4)［追加］をクリックします。

■Rendezvous を使用する場合

補足 • Mac OS X v10.4.11 で IP ネットワーク上のプリンターを自動的に検出する場合、［Bonjour］を選択してください。

1) メニューから［Rendezvous］を選択します。

2) 一覧の中から、使用するプリンターを選択します。

3)［追加］をクリックします。

これで、プリンターの追加は終了です。

プリンターオプションについて

［プリンタ設定ユーティリティ］のメニューバーから、［プリンタ］をクリックして、［情報を見る］を選択します。

次に［インストール可能なオプション］を選択し、プリンターに装着されているオプションを選択します。

オプションについては、「プリンターオプションの設定」(P.83) を参照してください。

Mac OS X 10.5 プリンターの追加

PPD ファイルのインストールが終了したら、プリンタードライバーに PPD ファイルを設定し、プリンターを追加します。

プリンタードライバーは、PPD ファイルの中にある情報をもとに、プリンターの機能をコントロールします。

1 USB ポートを使用する場合は、次の手順を行ってください。USB ポートを使用しない場合は、手順 2 に進みます。

1) USB ケーブルが接続されているときは、いったん取り外します。

2) Macintosh の電源が入っていることを確認して、プリンターの電源を切ります。

3) Macintosh とプリンターを USB ケーブルで接続します。

4) プリンターの電源を入れます。

2 プリンターのポートの設定を確認します。

■AppleTalk を使用する場合

［EtherTalk］を起動して、EtherTalk のプリントモード指定が PS（PostScript）に設定されていることを確認します。

■IP を使用する場合

［LPD］を起動します。

補足 ・ IP ネットワーク上のプリンターを自動的に検出できます。ディスカバリー機能を有効にしたい場合は、［Bonjour］を起動してください。

■［USB-1(2.0)］または［USB-2 (2.0)］を使用する場合

［USB］を起動します。

プリンター側の設定については、プリンターに同梱されているマニュアルを参照してください。また、お使いの機種によっては、プリントモード指定が不要な場合があります。

3 ［システム環境設定］を起動します。

4 ［プリントとファクス］をクリックします。

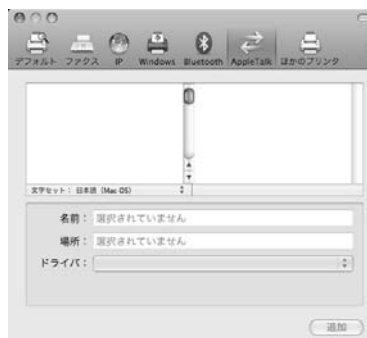
5 ［+］をクリックします。

6 プリンターと接続するためのプロトコルを選択します。

■AppleTalk を使用する場合

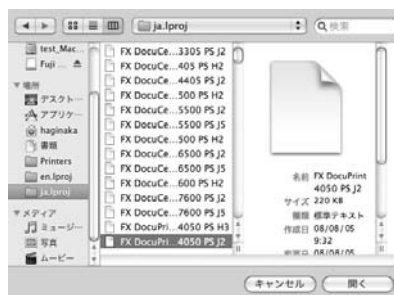
1) メニューから［AppleTalk］を選択します。

2) 一覧の中から、使用するプリンターを選択します。

3) ［ドライバ］から［自動選択］を選択して、手順 6) に進みます。

自動選択できない場合は、［その他］を選択し、手順4) に進みます。ファイル選択の画面が表示されます。

4) Mac OS X が起動しているボリュームの「/Library/printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj」を表示します。

5) 機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせて PPD ファイルを選択して、［開く］をクリックします。
ここでは、DocuPrint 4050 PS J2 を選択した例で説明します。

お使いのプリンター用の PPD ファイルが設定されます。

表示される PPD ファイル名とお使いの機種との対応については、「プリンターに対応した PPD ファイル名について」(P.11) を参照してください。

6) [追加] をクリックします。

■IP を使用する場合

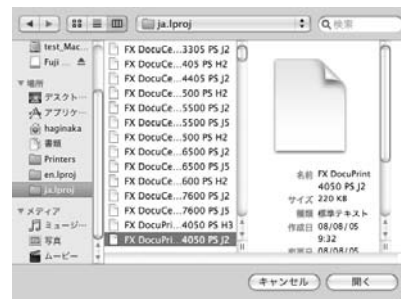
1) メニューから [IP] を選択し、[アドレス] に使用するプリンターの IP アドレスを入力します。

2) [ドライバ] から、[その他] を選択します。
ファイル選択の画面が表示されます。

3) Mac OS X が起動しているボリュームの「/Library/printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj」を表示します。

4) 機種と搭載している PostScript 和文フォントに合わせて PPD ファイルを選択して、[開く] を クリックします。

ここでは、DocuPrint 4050 PS J2 を選択した例で説明します。

お使いのプリンター用の PPD ファイルが設定されます。

表示される PPD ファイル名とお使いの機種との対応については、「プリンターに対応した PPD ファイル名について」(P.11) を参照してください。

5) [追加] をクリックします。

■[USB-1(2.0)] または [USB-2 (2.0)] を使用する場合

1) メニューから [デフォルト] を選択します。

2) 一覧の中から、使用するプリンターを選択します。

3) [ドライバ] から、[自動選択] を選択します。

4) [追加] をクリックします。

■Bonjour を使用する場合

1) **メニューから［デフォルト］を選択します。**

2) **一覧の中から、使用するプリンターを選択します。**
3) **［追加］をクリックします。**

これで、プリンターの追加は終了です。

プリンターオプションについて

［システム環境設定］の［プリントとファクス］画面で、使用するプリンターを選択します。

次に［オプションとサプライ］を選択し、プリンターに装着されているオプションを選択します。

オプションについては、「プリンターオプションの設定」(P.83) を参照してください。

スクリーンフォントのインストール

付属の CD-ROM に入っているフォントのインストール方法について説明します。

お使いの PostScript ソフトウエアキットに合わせたフォントをインストールしてください。

1 Macintosh を立ち上げます。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

デスクトップ上に［FX0PS-PS］アイコンが表示されます。

3 ［FX0PS-PS］アイコンを開きます。

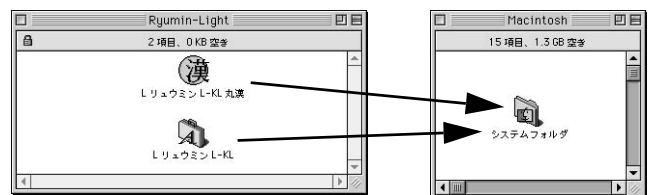
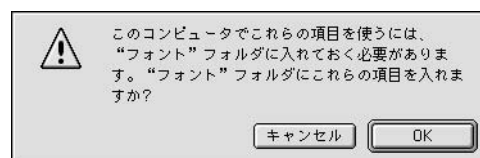
［FX0PS-PS］ウィンドウが表示されます。

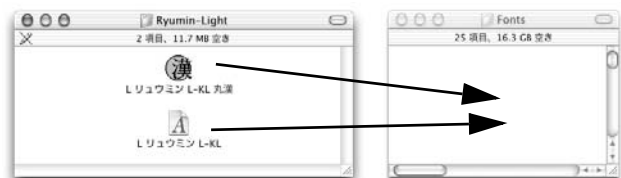
4 「Japanese」フォルダー＞「Utility」フォルダー＞「MacScreenFont」フォルダーの順に開きます。

5 「MacFont.sea.hqx」を StuffIt Expander™ を使用して解凍します。

補足 ・「mac88jps.sea.hqx」の解凍には、StuffIt Expander™ が必要です。

■Mac OS 8.6-9.2.2 日本語版の場合

1) インストールするフォントフォルダー内のすべてのファイルを、Macintosh の「システムフォルダ」にコピーします。

2) ［OK］をクリックします。

■Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5 の場合

1) インストールするフォントフォルダー内のすべてのファイルを、Mac OS X ディスクの「Library」フォルダーにある「Fonts」フォルダーにコピーします。

6 Macintosh を再起動します。

注記 ・使用した CD-ROM は、大切に保管してください。

4　プリンタードライバーの設定

- 機種固有の設定項目 60
  - Windows 60
  - Macintosh 83
- PostScript フォント一覧 101
  - 和文 101
  - 欧文 101

機種固有の設定項目

ここでは、プリンタードライバーに追加される機種固有の設定項目について、OS ごとに説明します。

Windows

プリンタードライバーをインストールすると、プリンタードライバーで設定する項目に、機種固有の項目が追加されます。

プリンタードライバーで設定できる項目のうち、プリンター固有の次の項目について説明します。これ以外の項目については、ヘルプを参照してください。

- ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］
- ［初期設定］タブ
- ［用紙 / 出力］タブ
- ［グラフィックス］タブ
- ［レイアウト］タブ
- ［詳細設定］タブ

それぞれのタブの表示方法は、次のとおりです。

■［デバイスの設定］タブ、［初期設定］タブを表示する

- Windows 2000 の場合

  ［スタート］メニューから、［コントロール パネル］>［プリンタ］の順に選択し、［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択します。

- Windows XP、Windows Server 2003 の場合

  ［スタート］メニューから、［コントロール パネル］>［プリンタと FAX］の順に選択し、［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択します。

- Windows Vista、Windows Server 2008 の場合

  ［スタート］メニューから、［コントロール パネル］>［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択し、メニューバーの［プリンタのプロパティの設定］を選択します。

■［用紙 / 出力］タブ、［グラフィックス］タブ、［レイアウト］タブ、［詳細設定］タブを表示する

- Windows 2000 の場合

  ［スタート］メニューから、［コントロール パネル］>［プリンタ］の順に選択し、［ファイル］メニューの［印刷設定］を選択します。

- Windows XP、Windows Server 2003 の場合

  ［スタート］メニューから、［コントロール パネル］>［プリンタと FAX］の順に選択し、［ファイル］メニューの［印刷設定］を選択します。

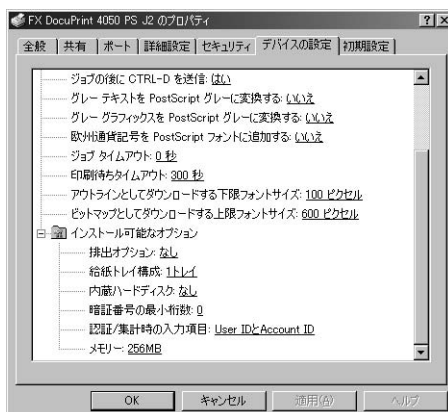
- Windows Vista、Windows Server 2008 の場合

  ［スタート］メニューから、［コントロール パネル］>［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択し、メニューバーの［印刷設定の選択］を選択します。

［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の設定

［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］について説明します。

正しく印刷するために、［インストール可能なオプション］の設定は、必ず正しい内容にする必要があります。

［インストール可能なオプション］で設定したい項目を選択して、右に表示されるメニューで設定を変更します。* は初期値です。

■設定項目

【排出オプション】

排出トレイモジュールが装着されている場合に設定します。

［排出トレイ］を設定すると、排出トレイモジュールが使用できるようになります。

［なし］*

［排出トレイ］

【給紙トレイ構成】

本機の給紙トレイ構成を設定します。

設定したトレイを使用できるようになります。

- ［1 トレイ］*
- ［2 トレイ］
- ［3 トレイ］
- ［4　トレイ］

【内蔵ハードディスク】

機能拡張キットが装着されている場合に設定します。

［あり］を選択すると、［用紙 / 出力］タブの［プリント種類］で［セキュリティープリント］、［サンプルプリント］、［時刻指定プリント］が選択できるようになります。また、［詳細設定］タブの［部単位］チェックボックスをオンにできるようになります。

- ［なし］*
- ［あり］

【暗証番号の最小桁数】

蓄積用ユーザー ID、セキュリティープリントのユーザー ID の暗証番号に最低限必要な入力桁数を設定します。

- ［0］*

- ［1］～［12］

【認証 / 集計時の入力項目】

デバイスのコントロールパネル上で認証するときに、User ID と Account ID のいずれかを使用するかを設定します。

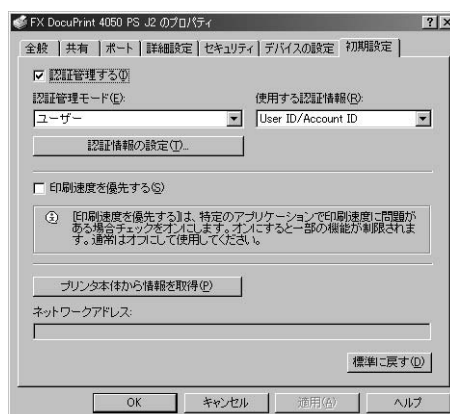
- ［User ID と Account ID］*
- ［User ID のみ］
- ［Account ID のみ］

【メモリー】

装着されているメモリー容量に合わせて設定します。

- ［256MB］*
- ［512MB］
- ［768MB］

［初期設定］タブの設定

［初期設定］タブで設定する項目について説明します。* は初期値です。

補足 ・［標準に戻す］をクリックすると、初期値に戻すことができます。

■設定項目

【認証管理する】

認証管理するときにチェックボックスをオンにします。初期値はオンです。

【認証管理モード】

認証に関係する各種の設定について、各一般ユーザーが変更できるようにするか、管理者が決めた設定をそのまま使用させるかを選択します。

［管理者］を選択すると、集計管理は管理者が設定したモードで動作し、ユーザーは変更できなくなります。プリンターアイコンごとに、異なる設定ができます。

［ユーザー］を選択すると、各ユーザーが、集計管理の設定を変更できるようになります。ユーザーごとに、異なる設定ができます。

- ［管理者］
- ［ユーザー］*

補足 ・現在ログオンしているユーザーに、プリンターの設定へのアクセス権がない場合、この項目はグレー表示され、設定を変更できません。

- ［印刷速度を優先する］チェックボックスをオンにすると、この項目は［管理者］に設定されてグレー表示になり、設定を変更できなくなります。チェックボックスをオフにすると、設定を変更できます。

【使用する認証情報】

印刷を開始したときに、「認証情報の入力」ダイアログボックスで入力できる認証情報を設定します。

［User ID/Account ID］を選択すると、認証用 User ID を入力できます。

[蓄積用ユーザー ID] を選択すると、蓄積用ユーザー ID を入力できます。

[すべて] を選択すると、認証用 User ID または蓄積用ユーザー ID を入力できます。

- ［User ID/Account ID］*
- ［蓄積用ユーザー ID］
- ［すべて］

【印刷速度を優先する】

［印刷速度を優先する］チェックボックスをオンにすると、PostScript を直接生成するアプリケーションの印刷速度が改善されます。その場合、本プリンタードライバーの機能が一部制限されます。通常はオフにして使用してください。初期値はオフです。

【プリンタ本体から情報を取得】

本機を TCP/IP または IPX で接続している場合は、［プリンタ本体から情報を取得］をクリックすると、プリンターが接続されている印刷ポートを使ってプリンターのオプション装着状態を確認し、［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の設定に反映されます。

取得したプリンターのアドレスは、ダイアログボックス内の [ネットワークアドレス] に表示されます。

注記 ・本機をローカルプリンターとして使用している場合は、この機能は使用できません。プリンタードライバーの該当項目を手動で設定してください。

■［認証情報の設定］ダイアログボックス

［認証情報の設定 ...］をクリックすると、［認証情報の設定］ダイアログボックスが表示されます。プリント出力するときのユーザー認証のための各種設定を行います。

注記 ・認証機能を使用している場合に、認証情報が不正と判断されたジョブは、プリンター側の設定によって、削除、または［認証プリント］に保存されます。

補足 ・［標準に戻す］をクリックすると、初期値に戻すことができます。

[常に同じ認証情報を使用する]

このボタンを選択すると、印刷するときのユーザー名には、このダイアログボックスで設定した認証情報が使用されます。

[User ID の指定]

User ID の指定方法を選択します。User ID は、プリントジョブの集計機能を使用するときに使用されます。

- [ログイン名を使用する] *

  User ID として、Windows のログイン名が使用されます。

  [User ID] に「ログインユーザー名」が表示され、[User ID] のテキストボックスは編集できない状態になります。ログイン名の最大文字数は、半角で 32 文字（全角で 16 文字）です。32 文字を超える場合は、無効になります。

- [ID を入力する]

  User ID を任意に指定したい場合に選択します。

[User ID]

任意の User ID を入力します。User ID の最大文字数は、半角で 32 文字（全角で 16 文字）です。

[パスワード]

User ID に対するパスワードを入力します。4 〜 12 文字の半角英数文字を入力します。入力したパスワードは、* で表示されます。

[Account ID]

任意の Account ID を入力します。半角英数文字で 32 文字以内で入力します。

[蓄積用ユーザー ID]

一般ユーザーが任意に課金管理の設定を変更できないように制限するために蓄積用ユーザー ID を登録します。蓄積用ユーザー ID の最大文字数は、半角英数または半角カナで 8 文字です。

補足 • プリンターとしての集計管理機能を使用している場合に、[蓄積用ユーザー ID] を指定したジョブは、印刷されずに [認証プリント] に蓄積用ユーザー ID ごとに保存されます。

[暗証番号]

蓄積用ユーザー ID に対する暗証番号を入力します。半角英数文字で 12 文字以内で入力します。入力した番号は、* で表示されます。

補足 • 暗証番号の最小桁数は、本機の操作パネルで設定してください。設定方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

[ジョブごとに認証の入力画面を表示する]

このボタンを選択すると、印刷を指示したときに [認証情報の入力] ダイアログボックスが表示されます。ユーザーは、ユーザー名やパスワードなどを入力して印刷を開始します。

補足 • 初期設定タブで [印刷速度を優先する] チェックボックスをオンにしている場合、[ジョブごとに認証の入力画面を表示する] はグレー表示され、選択できません。

[前回入力した情報を表示する]

このチェックボックスをオンにすると、[認証情報の入力] ダイアログボックスの設定画面に、前回設定したユーザーの認証情報が表示されます。前回設定したユーザーの認証情報は、ユーザーごとにプリンターアイコンに対して登録されます。

［User ID をアスタリスク（***）で表示する］

このチェックボックスをオンにすると、［認証情報の入力］ダイアログボックスの設定画面で入力したユーザー ID を、アスタリスク（*）で表示します。

［Account ID をアスタリスク（***）で表示する］

このチェックボックスをオンにすると、［認証情報の入力］ダイアログボックスの設定画面で入力したアカウント ID を、アスタリスク（*）で表示します。

■［認証情報の入力］ダイアログボックス

［認証情報の設定］ダイアログボックスで、［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］を選択すると、印刷を指示したときに、［認証情報の入力］ダイアログボックスが表示されます。ID の指定方法によって設定項目が異なります。

＜［認証用 ID を指定する］を選択した場合＞

集計管理用のユーザー ID を指定する場合に選択します。選択すると、［User ID］、［パスワード］、［Account ID］の項目が表示されます。

［User ID］

機器で認証・集計管理機能を利用している場合、機器に登録されている User ID（ジョブオーナー名）を入力します。User ID の最大文字数は、半角で 32 文字（全角で 16 文字）です。

［パスワード］

User ID に対するパスワードを入力します。4 ～ 12 文字の半角英数文字を入力します。入力したパスワードは、* で表示されます。

［Account ID］

任意の Account ID を入力します。半角英数文字で 32 文字以内で入力します。

＜［蓄積用 ID を指定する］を選択した場合＞

認証プリントの蓄積用のユーザー ID を指定する場合に選択します。選択すると、［蓄積用ユーザー ID］、［暗証番号］の項目が表示されます。

［蓄積用ユーザー ID］

一般ユーザーが任意に課金管理の設定を変更できないように制限するために蓄積用ユーザー ID を登録します。蓄積用ユーザー ID の最大文字数は、半角英数または半角カナで 8 文字です。

［暗証番号］

蓄積用ユーザー ID に対する暗証番号を入力します。半角英数文字で 12 文字以内で入力します。

入力した番号は、* で表示されます。

補足 ・暗証番号の最小桁数は、本機の操作パネルで設定してください。設定方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

［詳細設定］タブの設定

［詳細設定］タブのプリンタ固有の機能について説明します。

［詳細設定］タブで設定したい項目を選択して、右に表示されるメニューで設定を変更します。［+］をクリックすると内容が表示され、［−］をクリックすると閉じます。
* は初期値です。

■設定項目

【表紙 / 合紙】-【おもて表紙】

おもて表紙を付けるかどうかを設定します。おもて表紙を付ける場合は、表紙に使用する用紙トレイを設定します。

- ［付けない］*
- ［トレイ 1］
- ［トレイ 2］
- ［トレイ 3］
- ［トレイ 4］
- ［手差しトレイ］

【表紙 / 合紙】-【おもて表紙への印刷】

おもて表紙機能を使用する場合の表紙の印刷方法を設定します。

［しない（白紙挿入)］を選択すると、白紙が挿入されます。

［する］を選択すると、印刷するデータの最初のページが表紙として印刷されます。

- ［しない（白紙挿入）］＊
- ［する］

【表紙 / 合紙】-【うら表紙】

うら表紙を付けるかどうかを設定します。うら表紙を付ける場合は、表紙に使用する用紙トレイを設定します。

- ［付けない］＊
- ［トレイ 1］
- ［トレイ 2］
- ［トレイ 3］
- ［トレイ 4］
- ［手差しトレイ］

【表紙 / 合紙】-【合紙】

合紙を付けるかどうかを設定します。合紙を付ける場合は、合紙に使用する用紙トレイを設定します。

- ［付けない］＊
- ［トレイ 1］
- ［トレイ 2］
- ［トレイ 3］
- ［トレイ 4］
- ［手差しトレイ］

【表紙 / 合紙】-【手差しの用紙種類】

表紙 / 合紙機能を使用する場合の手差しトレイの用紙種類を設定します。

［プリンタの設定を用いる］を選択すると、プリンター側で設定されている用紙種類が使用されます。

- ［プリンタの設定を用いる］＊
- ［普通紙］
- ［普通紙うら面］
- ［再生紙］
- ［OHP フィルム］
- ［うす紙 (60 〜 90g/ ㎡)］
- ［厚紙 1(91 〜 157g/ ㎡)］
- ［厚紙 2(158 〜 216g/ ㎡)］
- ［ユーザー定義用紙 1 〜 5］

【OHP 合紙】-【OHP 合紙用トレイ選択】

OHP 合紙機能を使用する場合の合紙の給紙トレイを設定します。

［自動］を選択すると、給紙トレイはプリンター側で設定されている用紙トレイが使用されます。

- ［しない］＊
- ［自動］

- ［トレイ 1］
- ［トレイ 2］
- ［トレイ 3］
- ［トレイ 4］
- ［手差しトレイ 5］

【OHP 合紙】-【OHP 合紙のプリント】

OHP 合紙機能を使用する場合の合紙の印刷方法を設定します。

［しない（白紙挿入)］を選択すると、白紙が挿入されます。

［する］を選択すると、OHP フィルムに印刷する内容と同じ内容を合紙に印刷して挿入します。

- ［しない（白紙挿入)］*
- ［する］

【OHP 合紙】-【手差しの用紙種類】

OHP 合紙機能を使用する場合の合紙の用紙種類を設定します。

［プリンタの設定を用いる］を選択すると、プリンター側で設定されている用紙種類が使用されます。

- ［プリンタの設定を用いる］*
- ［普通紙］
- ［普通紙うら面］
- ［再生紙］
- ［うす紙 (60 〜 90g/ ㎡)］
- ［厚紙 1(91 〜 157g/ ㎡)］
- ［厚紙 2(158 〜 216g/ ㎡)］
- ［ユーザー定義用紙 1 〜 5］

【画質】-【印刷モード】

印刷画質の設定をします。

細かい線画などを印刷する場合は、［高精細］を選択します。

- ［標準］＊
- ［高精細］

【画質】-【ハーフトーン】

- 印刷モードとハーフトーンの組み合わせによりスクリーンが指定できます。
- ［Type1- 細かい網点］＊
- ［Type1- 粗い網点］
- ［Type3- 細かい網点］
- ［Type3- 粗い網点］

【詳細】-【原稿 180 °回転】

原稿を 180 °回転して印刷します。［レイアウト］タブの［まとめて 1 枚］で［2 アップ］以上を選択した場合は、それぞれのページを回転して印刷します。

- ［しない］*
- ［たて原稿］
- ［よこ原稿］
- ［たてよこ原稿（封筒など）］

【詳細】-【ダブルプリント】

裁断を目的にした繰り返し印刷指定です。

［しない］＊

［する］

補足 ・ダブルプリントを設定した場合、描画イメージは等倍で出力されます。

注記 ・［プリンタの設定を用いる］が選択された場合、原稿サイズに対して、出力用紙サイズは次のようになります。

A4 → A3 出力
A5 → A4 出力
B5 → B4 出力

【詳細】-【白紙節約】

白紙ページを含む文書を印刷する場合に、白紙ページを印刷するかしないかの設定をします。［する］、または［しない］から選択します。

- ［しない］*
- ［する］

【詳細】-【トナー節約】

トナー節約機能を使用するかどうかを設定します。［する］に設定すると、トナーの消費量を少なくして印刷するので、全体的に色が薄くなります。画質にこだわらないドラフト原稿などを印刷するときに、トナーを節約できます。

- ［しない］*
- ［する］

【詳細】-【バナーシート】

バナーシートをプリントするかしないかを指定します。

［プリンタの設定を用いる］を選択すると、プリンター側の設定が使用されます。

- ［プリンタの設定を用いる］*
- ［スタートページをプリントする］
- ［プリントしない］

補足 ・［プリント種類］が［セキュリティープリント］または［時刻指定プリント］の場合、この項目はグレー表示になり、設定を変更できません。

【詳細】-【仕切り合紙】

複数ページのファイルを、部単位でソートしないで印刷を行う場合、ページ単位での仕切りをするために、合紙を排出するかどうかを選択します。

仕切り合紙を出力するためのトレイを選択します。

仕切り合紙は、ページ単位の印刷が終わるごとに出力されます。

- ［付けない］*
- ［トレイ 1］
- ［トレイ 2］

- ［トレイ 3］
- ［トレイ 4］
- ［手差しトレイ］

【詳細】-【ジョブ終了をメールで通知】

印刷が終了するとメールで通知します。

［する］を選択した場合は、通知先のメールアドレスを、［ジョブ終了をメールで通知］ダイアログボックスの［メールアドレス］に半角英数字 128 文字以内で入力します。なお、この機能を利用するには、本体側の設定も必要です。

ここでの設定は、ユーザーごとにプリンターアイコンに対して登録されます。

- ［しない］*
- ［する］

【詳細】-【用紙の置き換え】

［用紙 / 出力］タブの［用紙トレイ選択］で［自動選択］を選択した場合に、印刷するサイズの用紙がプリンターにセットされていないときの動作を設定します。

- ［プリンタの設定を用いる］*

  プリンター側の設定を使用します。設定については、プリンターの操作パネルで確認してください。
- ［用紙補給を表示する］

  操作パネルに、用紙補給のメッセージを表示します。用紙が補給されるまで印刷されません。
- ［近いサイズを選択（縮小 / 等倍）］

  最も近いサイズの用紙を選択して、等倍、または必要に応じて自動的にイメージを縮小して印刷します。
- ［近いサイズを選択（等倍）］

  最も近いサイズの用紙を選択して、等倍で印刷します。
- ［大きいサイズを選択（縮小 / 等倍）］

  原稿サイズより大きな用紙を選択して、等倍、または必要に応じて自動的にイメージを縮小して印刷します。
- ［大きいサイズを選択（等倍）］

  原稿サイズより大きな用紙に、等倍で印刷します。
- ［手差しトレイから給紙する］

  指定されたサイズの用紙が用紙トレイにない場合、用紙トレイ 5（手差し）から給紙します。

【詳細】-【ユーザー定義用紙向き修正】

ユーザー定義用紙に印刷する場合に、用紙の向きを修正するかどうかを設定します。

ユーザー定義用紙に印刷したときに、その用紙に対して印刷結果の向きが 90 度回転してしまった場合には、この設定を［する］にしてください。

- ［する］*
- ［しない］

【詳細】-【CID フォント】

プリンター側で CID フォントだけを扱うモードにするか、OCF フォントも使用できるようにするかを設定します。

CID フォントだけを扱う場合は［CID Native］、CID フォントと OCF フォント両方扱う場合は［OCF Compatible］を選択します。

- ［CID Native］ *
- ［OCF Compatible］

【詳細】-【サイズ混在文書を印刷する】

両面印刷で、長辺をとじる用紙サイズと短辺をとじる用紙サイズを混在して印刷する場合に設定します。

［しない］を選択すると、うら面の向きを調整しないでそのまま印刷します。

［する］を選択すると、とじる方向に合せてうら面に印刷する向きを調整します。

- ［しない］ *
- ［する］

【詳細】-【破線再現】

- 点線が実線のように印刷されてしまう場合、[する] に設定します。
- ［する］
- ［しない］ *

補足 ・ アプリケーションによっては、効果が現われないことがあります。また、今まで実線として印刷されていた線が、点線で印刷されてしまうこともあります。

【詳細】-【選択トレイの用紙種類指定】

［用紙 / 出力］タブの［用紙トレイ選択］で［トレイ 1 ～ 4］を指定した場合に、プリンタードライバーで設定した用紙種類を、機器側で有効にするかどうかを設定します。

- ［しない］ *
- ［する］

【バージョン情報】-【バージョン情報】

このボタンをクリックすると、［バージョン情報］ダイアログボックスが表示されます。

■［バージョン情報ダイアログボックス］

［Fuji Xerox ホームページ］

このボタンをクリックすると、お使いのコンピューターのブラウザーが起動し、弊社のホームページ内にあるドライバーダウンロードサービスのページが表示されます。

このホームページから最新のプリンタードライバーなどをダウンロードできます。

［詳細表示］

このボタンをクリックすると、プリンタードライバーの構成ファイル情報が表示されます。

【ヘルプ ...】

このボタンをクリックすると、プリンタードライバーのヘルプウィンドウが表示されます。

［用紙 / 出力］タブの設定

［用紙 / 出力］タブで設定する項目について説明します。

補足 • ［標準に戻す］をクリックすると、初期値に戻すことができます。
• ［すべてを標準に戻す］をクリックすると、表示されているすべてのタブの各項目を初期値に戻すことができます。

■設定項目

【プリント種類】

プリントの種類を設定します。

- ［通常プリント］*

  通常のプリントです。

- ［セキュリティープリント］

  印刷を指示したデータを一時的にプリンター内に蓄積させて、印刷したいときにプリンター側の指示で出力させる機能です。

  ［設定］をクリックして表示される［セキュリティープリント］ダイアログボックスで、各項目を設定します。

  ［セキュリティープリント］ダイアログボックスについては、「［セキュリティープリント］ダイアログボックス」(P.73) を参照してください。

- [サンプルプリント]

  複数部数を印刷する場合に、まず 1 部だけ印刷し、残りの部数は印刷結果を確認してから、プリンター側の指示で出力させる機能です。

  [設定] をクリックして表示される [サンプルプリント] ダイアログボックスで、各項目を設定します。

  [サンプルプリント] ダイアログボックスについては、「[サンプルプリント] ダイアログボックス」(P.73) を参照してください。

  サンプルプリントをする場合は、印刷部数を 2 部以上に設定します。

- [時刻指定プリント]

  印刷を指示したデータを一時的にプリンター内に蓄積させて、指定した時刻に出力させる機能です。

  [設定] をクリックして表示される [時刻指定プリント] ダイアログボックスで、各項目を設定します。

  [時刻指定プリント] ダイアログボックスについては、「[時刻指定] ダイアログボックス」(P.74) を参照してください。

■[セキュリティープリント] ダイアログボックス

[ユーザー ID]

セキュリティープリントで使用されるユーザー ID を入力します。ユーザー ID の最大文字数は、半角英数または半角カナで 8 文字です。

[暗証番号]

セキュリティープリントの [ユーザー ID] に対応する、暗証番号を入力します。半角数字で 12 文字以内で入力します。番号は、* で表示されます。

補足 ・暗証番号の最小桁数は、本機の操作パネルで設定してください。設定方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

[蓄積する文書名]

プリンターに保存する文書の名前を指定する方法を選択します。[自動取得] または [文書名を入力する] から選択します。

[自動取得] を選択すると、文書名は印刷を指示したアプリケーションから取得され、入力はできません。また、半角英数または半角カナで 12 文字を超えた場合は、文書名がなし（NULL）で出力されます。

[文書名を入力する] を選択した場合は、[文書名] に文書の名前を入力します。

- [自動取得]
- [文書名を入力する] *

[文書名]

[蓄積する文書名] で [文書名を入力する] を選択した場合に、プリンターに保存される文書の名前を入力します。入力できる文字数は、半角英数または半角カナで 12 文字以内です。

■[サンプルプリント] ダイアログボックス

[ユーザー ID]

サンプルプリントで使用されるユーザー ID を入力します。ユーザー ID の最大文字数は、半角英数または半角カナで 8 文字です。

［蓄積する文書名］

プリンターに保存する文書の名前を指定する方法を選択します。［自動取得］または［文書名を入力する］から選択します。

［自動取得］を選択すると、文書名は印刷を指示したアプリケーションから取得され、入力はできません。また、半角英数または半角カナで 12 文字を超えた場合は、文書名がなし（NULL）で出力されます。

［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］に文書の名前を入力します。

- ［自動取得］
- ［文書名を入力する］*

［文書名］

［蓄積する文書名］で［文書名を入力する］を選択した場合に、プリンターに保存される文書の名前を入力します。入力できる文字数は、半角英数または半角カナで 12 文字以内です。

■［時刻指定］ダイアログボックス

［印刷開始時刻］

時刻指定プリントを選択した場合に、印刷を開始する時刻を指定します。指定できる時刻の範囲は、00:00 〜 23:59 です。

［蓄積する文書名］

プリンターに保存する文書の名前を指定する方法を選択します。［自動取得］または［文書名を入力する］から選択します。

［自動取得］を選択すると、文書名は印刷を指示したアプリケーションから取得され、入力はできません。また、半角英数または半角カナで 12 文字を超えた場合は、文書名がなし（NULL）で出力されます。

［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］に文書の名前を入力します。

- ［自動取得］
- ［文書名を入力する］*

［文書名］

［蓄積する文書名］で［文書名を入力する］を選択した場合に、プリンターに保存される文書の名前を入力します。入力できる文字数は、半角英数または半角カナで 12 文字以内です。

【両面】

両面に印刷します。

両面印刷には、長辺をとじる方法と短辺をとじる方法があります。とじる辺にあわせて､どちらかを選択します。

[長辺とじ] を選択すると用紙の長辺、[短辺とじ] を選択すると用紙の短辺を軸に表とうらのイメージの上方向が一致するように印刷されます。

- ［しない］*
- ［長辺とじ］
- ［短辺とじ］

【原稿サイズ】

印刷するファイルの原稿サイズを指定します。

【編集 ...】

［原稿サイズ］で［PostScript カスタムページサイズ］を選択すると表示されます。

このボタンをクリックすると、［PostScript カスタムページサイズの定義］ダイアログボックスが表示され、カスタムページの設定ができます。

■[PostScript カスタムページサイズの定義] ダイアログボックス

［原稿サイズ］で［PostScript カスタムページサイズ］を選択すると表示されます。

［カスタムページサイズの設定］

カスタムページサイズを設定します。下のエディットボックスに、短辺および長辺の数値を半角数字で入力します。

［短辺］

カスタムページの短辺を設定します。

インチ単位の場合は 0.01inch 単位に、ミリメートル単位の場合は 0.1㎜ 単位に、ポイント単位の場合は 1point 単位に指定できます。

［長辺］

カスタムページの長辺を設定します。

インチ単位の場合は 0.01inch 単位に、ミリメートル単位の場合は 0.1㎜ 単位に、ポイント単位の場合は 1point 単位に指定できます。

［単位］

カスタムページサイズを設定する場合に、カスタムページの［短辺］と［長辺］の単位表示を、インチ、ミリメートル、ポイントに切り替えます。

注記 ・単位の表示を切り替えると、誤差が生じることがあります。

【用紙トレイ選択】

印刷に使用する用紙トレイを選択します。

- ［自動選択］*
- ［トレイ 1］
- ［トレイ 2］
- ［トレイ 3］
- ［トレイ 4］
- ［手差しトレイ］

補足 ・表示される用紙トレイは、装着されている用紙トレイによって異なります。

【手差し用紙の給紙方向】

- 手差しにセットする用紙の縦横の方向を指定します。
- [よこ置き優先]*

- [たて置き優先]

【用紙種類】

印刷する用紙の種類を指定します。

- ［指定しない］ *
- ［普通紙］
- ［普通紙うら面］
- ［再生紙］
- ［OHP フィルム］
- ［うす紙 (60 ～ 90g/ ㎡)］
- ［厚紙 1(91 ～ 157g/ ㎡)］
- ［厚紙 2(158 ～ 216g/ ㎡)］
- ［ユーザー定義用紙 1 ～ 5］

【用紙色】

印刷に使用する用紙の色を指定します。
用紙色は、トレイごとにプリンター側で設定できます。
プリンタードライバーで［用紙色］を指定すると、この用紙色に合うトレイから用紙が給紙されます。
［自動］を選択した場合は、プリンター側の色設定は無視され、用紙サイズまたは指定したトレイ番号の用紙から給紙されます。
［その他］は、プリンター側で任意の色を［その他］の色として設定している場合に使用できます。

- ［白］ *
- ［青］
- ［黄色］
- ［緑］
- ［ピンク］
- ［透明］
- ［アイボリー］
- ［グレー］
- ［クリーム］
- ［山吹色］
- ［赤］
- ［オレンジ］
- ［ユーザー色 1 ～ 5］
- ［その他］
- ［自動］

【排出先】

印刷した用紙の排出先を設定します。

［自動選択］ ＊

［拡張排出トレイ］

補足 ・オプションの排出先トレイが装着されている場合に設定できます。

【読み込み ...】

このボタンを選択すると、[お気に入りの読み込み] ダイアログボックスが表示されます。

■[お気に入りの読み込み] ダイアログボックス

［名前］

登録されている設定を選択します。

［削除］

登録されている設定を削除します。

【保存 ...】

このボタンを選択すると、[お気に入りの保存] ダイアログボックスが表示されます。

■[お気に入りの保存] ダイアログボックス

［名前］

登録する設定の名前を入力します。

［削除］

登録されている設定を削除します。

【プリンタの状態】

お使いのコンピューターのブラウザーが起動し、プリンターの CentreWare Internet Services に接続して、プリンターの状態を表示します。

CentreWare Internet Services を利用するには、プリンター側でインターネットサービスを起動する必要があります。

補足 ・TCP/IP 以外で接続している場合は、この機能は使用できません。

［レイアウト］タブの設定

［レイアウト］タブで設定する項目について説明します。

補足 •［標準に戻す］をクリックすると、初期値に戻すことができます。

■設定項目

【まとめて 1 枚】

連続する 2、4、6、9、16 ページ分の原稿を 1 枚の用紙にまとめて印刷します。

- [N アップしない] *
- [2 アップ]
- [4 アップ]
- [6 アップ]
- [9 アップ]
- [16 アップ]

[2 アップ] から［16 アップ］で出力したときの出力イメージです。

たて原稿

1

2up

4up

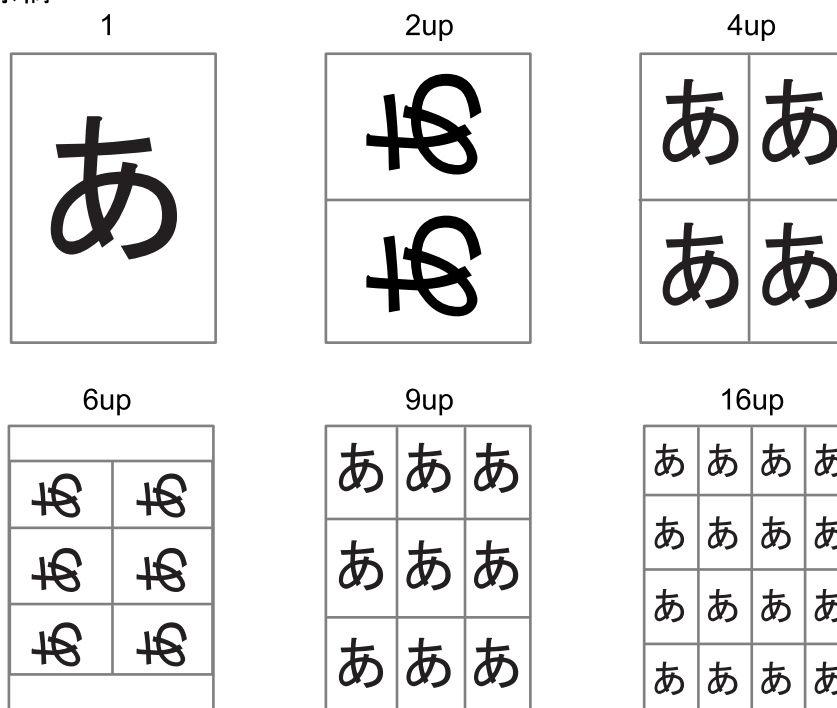
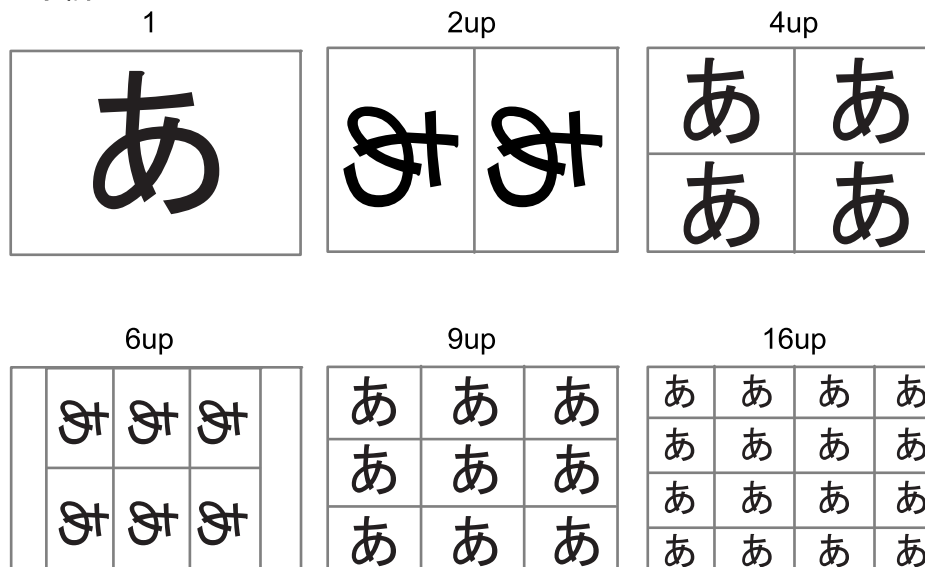
6up

9up

16up

よこ原稿

1　2up　4up

6up　9up　16up

【出力用紙サイズ】

印刷に使用する用紙サイズを指定します。

［用紙 / 出力］タブの［原稿サイズ］の設定と異なる用紙サイズを選択した場合、［出力用紙サイズ］に合うように、自動的に原稿のイメージを拡大または縮小して印刷します。

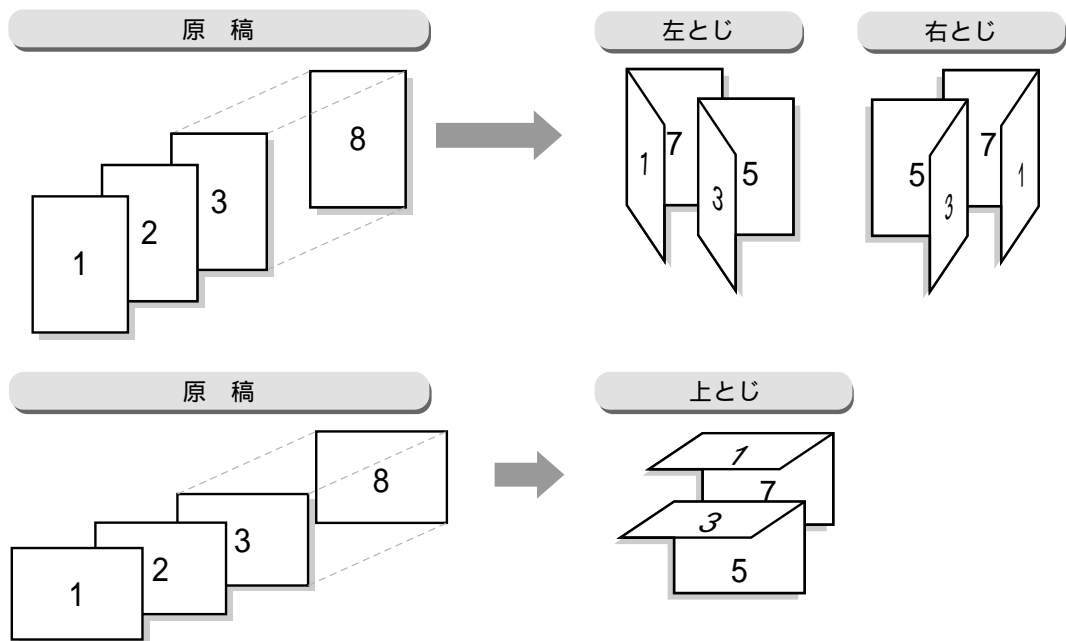
【製本】

製本する場合の面付けと、後処理の方法を指定します。

[左とじ / 上とじ]、[右とじ / 下とじ] を選択すると製本を行います。

- [しない] *
- [左とじ / 上とじ]
- [右とじ / 下とじ]

次に製本したときにどのように印刷されるかを表示します。

原稿イメージに対し、左とじ、右とじして、二つ折りした場合の例です。

【製本の出力用紙サイズ】

製本するときの出力サイズを指定します。

- ［ プリンタの設定を用いる ］＊
- [A3]
- [A4]
- [B4]
- ［ トレイ 1 の用紙 ］
- ［ トレイ 2 の用紙 ］
- ［ トレイ 3 の用紙 ］
- ［ トレイ 4 の用紙 ］

注記
- 製本する場合に、［用紙 / 出力］タブの［用紙トレイ選択］で選択できるのは、［自動選択］のみです。あらかじめ［用紙トレイ選択］で［自動選択］以外を選択している場合は、製本は設定できません。
- ［プリンタの設定を用いる］が選択された場合、原稿サイズに対して、出力用紙サイズは次のようになります。
  A4　→　A3 出力
  A5　→　A4 出力
  B5　→　B4 出力

【分冊】

分冊にして製本する場合の枚数を指定します。

- ［ しない ］＊
- [1 枚ごと]
- [2 枚ごと]
- [3 枚ごと]
- [4 枚ごと]

- [5 枚ごと]
- [6 枚ごと]
- [7 枚ごと]
- [8 枚ごと]
- [9 枚ごと]
- [10 枚ごと]
- [11 枚ごと]
- [12 枚ごと]
- [13 枚ごと]
- [14 枚ごと]
- [15 枚ごと]
- [16 枚ごと]
- [17 枚ごと]
- [18 枚ごと]
- [19 枚ごと]
- [20 枚ごと]
- [21 枚ごと]
- [22 枚ごと]
- [23 枚ごと]
- [24 枚ごと]
- [25 枚ごと]

【中とじしろをつける】

中とじで、2 つ折りにしたときに中とじ部分の印字が見えにくくなるのを防ぐため、用紙の中央にとじしろをつけます。

【中とじしろをつける】-【自動縮小する】

チェックすると、用紙のサイズに合わせて原稿イメージを縮小します。

【中とじしろをつける】-【とじしろ幅】

中とじのとじしろ幅を設定します。

とじしろ幅は、ミリメートル単位の場合は、1㎜ 単位に 0 〜 25㎜ の範囲で指定します。インチ単位の場合は、0.1inch 単位に 0.0 〜 1.0inch の範囲で指定します。

【中とじしろをつける】-【単位】

とじしろ幅の単位を指定します。

- [ミリ] *
- [インチ]

【枠線をつける】

［まとめて1枚］または［製本］で設定した各ページの周りに枠線をつけて印刷します。

【とじしろ ...】

このボタンを選択すると、［ とじしろ ］ダイアログボックスが表示されます。

■［ とじしろ ］ダイアログボックス

補足 ・［標準に戻す］をクリックすると、初期値に戻すことができます。

［位置］

とじしろの位置を指定します。

とじしろは、用紙の指定した位置に付けることができます。用紙の方向によってとじしろ位置が異なります。

［短辺上とじ］

［短辺左とじ］

［短辺右とじ］

［短辺下とじ］

［長辺上とじ］

［長辺左とじ］

［長辺右とじ］

［長辺下とじ］

補足 ・ 次の場合、とじしろの位置は［しない］だけが有効になります。
・［レイアウト］タブの［製本］で、［しない］以外が選択されている場合
・［詳細設定］タブの［サイズ混在文書を印刷する］で、［する］が選択されている場合

［おもて］

「とじしろ」機能を使用する場合に、おもてのとじしろの幅を指定します。

0 ～ 50㎜ の範囲で 1㎜ 単位に指定できます。

［うら］

両面に印刷する場合で、「とじしろ」機能を使用するときに、うらのとじしろの幅を指定します。

うらのとじしろ位置は、おもてのとじしろ位置を基準にして、おもてと同じ辺に付くように自動的に設定されます。

0 ～ 50㎜ の範囲で 1㎜ 単位に指定できます。

Macintosh

プリンターオプションとプリンタードライバーの設定について説明します。

Mac OS 8.6/9.2.2 日本語版の場合と Mac OS X 10.3.9/10.4.10 の場合では設定手順は異なりますが、設定項目は共通です。

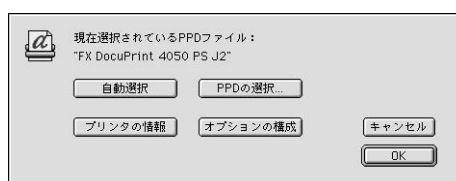
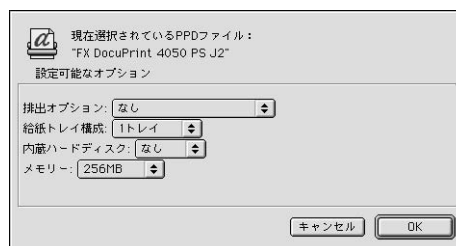
プリンターオプションの設定

■Mac OS 8.6/9.2.2 日本語版の場合

正しく印刷するために、ここでの設定は、必ず正しい内容にする必要があります。

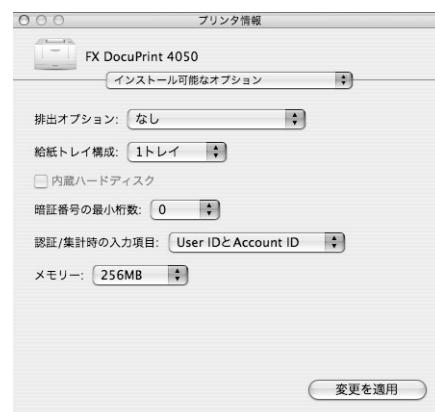
補足 ・通常、プリンターオプションは、プリンターとの双方向通信によって自動的に設定されます。ユーザーが設定を変える必要はありません。

1 セレクタでプリンターを選択し、[再設定] をクリックします。
[現在選択されている PPD ファイル] ダイアログボックスが表示されます。

2 [オプションの構成] をクリックします。

3 [設定可能なオプション] で、設定したいオプションのメニュー項目を設定して、[OK] をクリックします。

■Mac OS X 10.3.9/10.4.10 の場合

1 [プリンタ設定ユーティリティ] の [プリンタリスト] でプリンター名を選択し、[情報を見る] をクリックします。

2 [インストール可能なオプション] を選択し、プリンターに装着されているオプションを選択します。

注記 ・オプションは設定できますが、設定したオプションに関する機能と他の機能との不整合に関する処理は働きません。

■ Mac OS X 10.5 の場合

1 ［システム環境設定］の［プリンタとファクス］でプリンター名を選択し、［オプションとサプライ］をクリックします。

2 ［ドライバ］を選択し、プリンターに装着されているオプションを選択します。

注記 ・オプションは設定できますが、設定したオプションに関する機能とほかの機能との不整合に関する処理は働きません。

■設定項目

［設定可能なオプション］で設定する項目について説明します。* は初期値です。

【排出オプション】

排出トレイモジュールが装着されている場合に設定します。

［排出トレイ］を設定すると、排出トレイモジュールが使用できるようになります。

［なし］*

［排出トレイ］

【給紙トレイ構成】

本機の給紙トレイ構成を設定します。

［2 トレイ］を設定すると、［トレイ 2］が使用できるようになります。

［4 トレイ］を設定すると、［トレイ 2］、［トレイ 3］、［トレイ 4］が使用できるようになります。

- ［1 トレイ］*
- ［2 トレイ］
- ［3 トレイ］
- ［4 トレイ］

【内蔵ハードディスク】

機能拡張キットが装着されている場合に設定します。

［あり］を選択すると、［用紙 / 出力］タブの［プリント種類］で［セキュリティープリント］、［サンプルプリント］、［時刻指定プリント］が選択できるようになります。また、［詳細設定］タブの［部単位］チェックボックスをオンにできるようになります。

- ［なし］*
- ［あり］

【暗証番号の最小桁数】

蓄積用ユーザー ID、セキュリティープリントのユーザー ID の暗証番号に最低限必要な入力桁数を設定します。

- ［0］*
- ［1］～［12］

補足 ・Mac OS X 10.3.9/10.4.10 の場合に設定できます。

【認証 / 集計時の入力項目】

デバイスのコントロールパネル上で認証するときに、User ID と Account ID のいずれかを使用するかを設定します。

- ［User ID と Account ID］ *
- ［User ID のみ］
- ［Account ID のみ］

補足 ・Mac OS X 10.3.9/10.4.10 の場合に設定できます。

【メモリー】

装着されているメモリー容量に合わせて設定します。

- ［256MB］ *
- ［512MB］
- ［768MB］

プリンタードライバーの設定

プリンタードライバーの設定について説明します。

1 アプリケーションの［ファイル］メニューから、［プリント］を選択します。
［プリント］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［Fuji Xerox 詳細設定］を選択します。

Mac OS 8.6-9.2.2 の場合は、[プリンタ固有機能] を選択します。

Mac OS X10.3.9-10.4.11/10.5 をお使いの場合は、手順 3 に進みます。

3 設定したい機能が表示される［機能セット］を選択します。

4 設定したい機能を、選択肢の中から指定します。

■設定項目

［プリンタ固有機能］で設定する項目について説明します。* は初期値です。

【用紙種類】

印刷する用紙の種類を指定します。

- ［指定しない］ *
- ［普通紙］

- ［普通紙うら面］
- ［再生紙］
- ［OHP フィルム］
- ［うす紙 (60 ～ 90g/ ㎡)］
- ［厚紙 1(91 ～ 157g/ ㎡)］
- ［厚紙 2(158 ～ 216g/ ㎡)］
- ［ユーザー定義用紙 1 ～ 5］

【用紙色】

印刷に使用する用紙の色を指定します。
用紙色は、トレイごとにプリンター側で設定できます。
プリンタードライバーで［用紙色］を指定すると、この用紙色に合うトレイから用紙が給紙されます。
［自動］を選択した場合は、プリンター側の色設定は無視され、用紙サイズまたは指定したトレイ番号の用紙から給紙されます。
［その他］は、プリンター側で任意の色を［その他］の色として設定している場合に使用できます。

- ［白］*
- ［青］
- ［黄色］
- ［緑］
- ［ピンク］
- ［透明］
- ［アイボリー］
- ［グレー］
- ［クリーム］
- ［山吹色］
- ［赤］
- ［オレンジ］
- ［ユーザー色 1 ～ 5］
- ［その他］
- ［自動］

【部単位で印刷】

複数ページのファイルを、部単位で印刷できます。

- ［しない］*
- ［する］

補足 ・ Mac OS X の場合は、［印刷部数と印刷ページ］タブの［丁合い］チェックボックスをオンにすると、部単位で印刷できます。

【排出先】

印刷した用紙の排出先を設定します。

［自動選択］＊
［排出トレイ］

補足 ・オプションの排出先トレイが装着されている場合に設定できます。

【おもて表紙】

おもて表紙を付けるかどうかを設定します。おもて表紙を付ける場合は、表紙に使用する用紙トレイを設定します。

- ［付けない］*
- ［トレイ 1］
- ［トレイ 2］
- ［トレイ 3］
- ［トレイ 4］
- ［手差しトレイ］

【うら表紙】

うら表紙を付けるかどうかを設定します。うら表紙を付ける場合は、表紙に使用する用紙トレイを設定します。

- ［付けない］*
- ［トレイ 1］
- ［トレイ 2］
- ［トレイ 3］
- ［トレイ 4］
- ［手差しトレイ］

【OHP 合紙用トレイ選択】

OHP 合紙機能を使用する場合の合紙の給紙トレイを設定します。

［自動］を選択すると、給紙トレイはプリンター側で設定されている用紙トレイが使用されます。

- ［しない］*
- ［自動］
- ［トレイ 1］
- ［トレイ 2］
- ［トレイ 3］
- ［トレイ 4］
- ［手差しトレイ］

【OHP 合紙のプリント】

OHP 合紙機能を使用する場合の合紙の印刷方法を設定します。

［しない（白紙挿入）］を選択すると、白紙が挿入されます。

［する］を選択すると、OHP フィルムに印刷する内容と同じ内容を合紙に印刷して挿入します。

- ［しない（白紙挿入）］*
- ［する］

【OHP 合紙の用紙種類】

OHP 合紙機能を使用する場合の合紙の用紙種類を設定します。

［プリンタの設定を用いる］を選択すると、プリンター側で設定されている用紙種類が使用されます。

- ［プリンタの設定を用いる］*
- ［普通紙］
- ［普通紙うら面］
- ［再生紙］
- ［うす紙 (60 ～ 90g/ ㎡)］
- ［厚紙 1(191 ～ 157g/ ㎡)］
- ［厚紙 2(158 ～ 216g/ ㎡)］
- ［ユーザー定義用紙 1 ～ 5］

【仕切り合紙】

複数ページのファイルを、部単位でソートしないで印刷を行う場合、ページ単位での仕切りをするために、合紙を排出するかどうかを選択します。

仕切り合紙を出力するためのトレイを選択します。

仕切り合紙は、ページ単位の印刷が終わるごとに出力されます。

- ［付けない］*
- ［トレイ 1］
- ［トレイ 2］
- ［トレイ 3］
- ［トレイ 4］
- ［手差しトレイ］

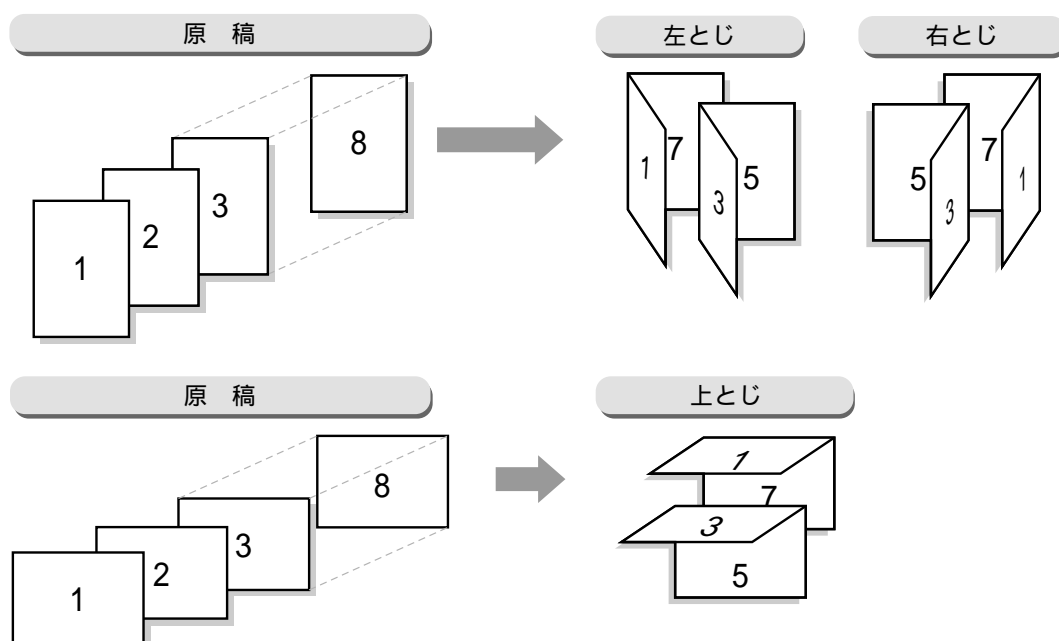
【製本】

製本する場合の面付けと、後処理の方法を指定します。

[左とじ / 上とじ]、[右とじ / 下とじ] を選択すると製本を行います。

- [しない] *
- [左とじ / 上とじ]
- [右とじ / 下とじ]

次に製本したときにどのように印刷されるかを表示します。

原稿イメージに対し、左とじ、右とじして、二つ折りした場合の例です。

【製本の出力用紙サイズ】

製本するときの出力サイズを指定します。

- ［プリンタの設定を用いる］*
- [A3]
- [A4]
- [B4]
- ［トレイ 1 の用紙］
- ［トレイ 2 の用紙］
- ［トレイ 3 の用紙］
- ［トレイ 4 の用紙］

注記
- 製本する場合に、［用紙トレイ選択］で選択できるのは、［自動選択］のみです。あらかじめ［用紙トレイ選択］で［自動選択］以外を選択している場合は、製本は設定できません。
- ［プリンタの設定を用いる］が選択された場合、原稿サイズに対して、出力用紙サイズは次のようになります。
  A4　→　A3 出力
  A5　→　A4 出力
  B5　→　B4 出力

【製本の分冊】

分冊にして製本する場合の枚数を指定します。

- ［しない］*
- [1 枚ごと］～ [25 枚ごと］

【製本の枠線】

製本した原稿の各ページに枠線をつけます。

- ［つけない］*
- ［つける］

【サイズ混在文書を印刷する】

両面印刷で、長辺をとじる用紙サイズと短辺をとじる用紙サイズを混在して印刷する場合に設定します。

［しない］を選択すると、うら面の向きを調整しないでそのまま印刷します。

［する］を選択すると、とじる方向に合せてうら面に印刷する向きを調整します。

- ［しない］*
- ［する］

【ユーザー定義用紙向き修正】

ユーザー定義用紙に印刷する場合に、用紙の向きを修正するかどうかを設定します。

ユーザー定義用紙に印刷したときに、その用紙に対して印刷結果の向きが 90 度回転してしまった場合には、この設定を［する］にしてください。

- ［する］*
- ［しない］

【手差し用紙の給紙方向】

手差しトレイを使用して印刷する場合の用紙のセット方向を設定します。手差しトレイに用紙の短辺をあわせてセットする場合は［たて置き優先］、用紙の長辺をあわせてセットする場合は［よこ置き優先］となります。用紙のサイズによって、向きが限定されている場合は、ここの設定は無効になり、用紙をセットした方向で印刷されます。

- ［たて置き優先］
- ［よこ置き優先］*

【白紙節約】

白紙ページを含む文書を印刷する場合に、白紙ページを印刷するかどうかを設定します。

- ［しない］*
- ［する］

【用紙の置き換え】

［一般設定］の［給紙方法］で［自動選択］を選択した場合に、印刷するサイズの用紙がプリンターにセットされていないときの動作を設定します。

- ［プリンタの設定を用いる］*

  プリンター側の設定を使用します。設定については、プリンターの操作パネルで確認してください。

- ［用紙補給を表示する］

  操作パネルに、用紙補給のメッセージを表示します。用紙が補給されるまで印刷されません。

- ［近いサイズを選択（縮小 / 等倍）］

  最も近いサイズの用紙を選択して、等倍、または必要に応じて自動的にイメージを縮小して印刷します。

- ［近いサイズを選択（等倍）］

  最も近いサイズの用紙を選択して、等倍で印刷します。

- ［大きいサイズを選択（縮小 / 等倍）］

原稿サイズより大きな用紙を選択して、等倍、または必要に応じて自動的にイメージを縮小して印刷します。

- ［大きいサイズを選択（等倍）］

  原稿サイズより大きな用紙に、等倍で印刷します。

- ［手差しトレイから給紙する］

  指定されたサイズの用紙が用紙トレイにない場合、用紙トレイ 5（手差し）から給紙します。

【選択トレイの用紙種類指定】

［用紙トレイ選択］で［トレイ 1 ～ 4］を指定した場合に、プリンタードライバーで設定した用紙種類を、機器側で有効にするかどうかを設定します。

- ［しない］*
- ［する］

【トナー節約】

トナー節約機能を使用するかどうかを設定します。［する］に設定すると、トナーの消費量を少なくして印刷するので、全体的に色が薄くなります。画質にこだわらないドラフト原稿などを印刷するときに、トナーを節約できます。

- ［しない］*
- ［する］

【印刷モード】

印刷画質の設定をします。

細かい線画などを印刷する場合は、［高精細］を選択します。

- ［標準］*
- ［高精細］

  細かい線画などを印刷したい場合に選択します。

【CID フォント】

プリンター側で CID フォントだけを扱うモードにするか、OCF フォントも使用できるようにするかを設定します。

CID フォントだけを扱う場合は［CID Native］、CID フォントと OCF フォント両方扱う場合は［OCF Compatible］を選択します。

- ［CID Native］*
- ［OCF Compatible］

■［スタンプ］の設定項目

（Mac OS X 10.3.9/10.4.10 のみ）

［スタンプ］に切り替えた場合の設定項目について説明します。

補足　・［標準に戻す］をクリックすると、初期値に戻すことができます。

【スタンプ】

ファイルに重ね合わせて印刷するスタンプを選択します。

選択できる項目がない場合は、[新規登録...] をクリックして表示される [スタンプ] ダイアログボックスで、新しいスタンプを登録できます。

【編集 ...】

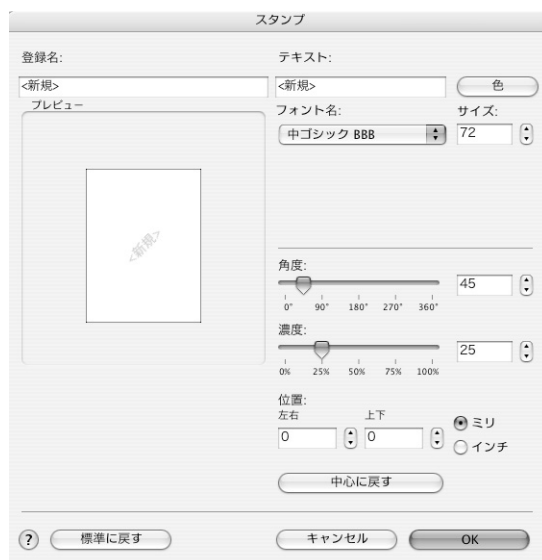
スタンプを選択してこのボタンをクリックすると、[スタンプ編集] ダイアログボックスが表示され、登録されているスタンプを編集できます。

【削除】

スタンプを選択してこのボタンをクリックすると、登録されているスタンプを削除できます。確認のメッセージが表示されるので、その指示に従ってください。

【新規登録 ...】

このボタンを選択すると、[スタンプ] ダイアログボックスが表示され、新しいスタンプを登録できます。スタンプは、32 個まで登録できます。

■[スタンプ] ダイアログボックス

補足 ・［標準に戻す］をクリックすると、初期値に戻すことができます。

［登録名］

［スタンプ］に表示する名前を指定します。登録名は、32 バイト（半角で 32 文字、全角で 16 文字）以内で指定します。

［プレビュー］

［スランプ］ダイアログボックス内の各項目の設定内容を表すイメージが表示されます。設定するときの参考にしてください。

補足 ・［フォント名］で指定されたスクリーンフォントが OS にインストールされていない場合、正しく表示できません。
・テキストに日本語を用いた場合、日本語フォント名を選択してください。欧文フォントを選択した場合は、テキストが正しく表示、印字できません。

［テキスト］

スタンプとして印刷する文字を指定します。スタンプの文字列は、64 バイト（半角で 64 文字、全角で 32 文字）以内で指定します。

［色］

スタンプで使用する色を指定します。クリックすると、ダイアログボックスが表示され、色を指定できます。

［フォント名］

スタンプで使用するフォントの種類を選択します。

補足 ・［フォント名］では、プリンター本体に搭載されたフォントをテキストのフォントとして指定します。

［サイズ］

スタンプで使用する文字のサイズを指定します。7 ～ 600point の範囲で、1point 単位に指定できます。キー入力、または▲▼ボタンで指定します。

［角度］

スタンプの角度を指定します。0 ～ 360 °の範囲で、1 °単位に指定できます。キー入力、または▲▼ボタンで指定します。

［濃度］

スタンプの濃度を指定します。0 ～ 100% の範囲で、1% 単位に指定できます。キー入力、または▲▼ボタンで指定します。

［位置］

スタンプにテキストを使用する場合に、スタンプの中心からの距離を指定します。

［中心に戻す］

クリックすると、位置の設定がスタンプの中心に戻ります。

［左右］

スタンプの左右の位置を指定します。単位に［ミリ］を選択した場合は、ページ幅の -1/2 ～ 1/2 の範囲で 1㎜ 単位に、単位に［インチ］を選択した場合は、同様の範囲で 0.1inchi 単位に指定できます。キー入力、または▲▼ボタンで指定します。

［上下］

スタンプの上下の位置を指定します。単位に［ミリ］を選択した場合は、ページの高さの -1/2 ～ 1/2 の範囲で 1㎜ 単位に、単位に［インチ］を選択した場合は、同様の範囲で 0.1inchi 単位に指定できます。キー入力、または▲▼ボタンで指定します。

［ミリ］/［インチ］

［位置］の単位表示を、ミリメートルまたはインチに切り替えます。

【最初のページのみ】

スタンプを選択すると、チェックできます。チェックすると、印刷するファイルの最初のページにだけスタンプが印刷されます。チェックを外すと、すべてのページにスタンプが印刷されます。

■［プリント種類］の設定項目

（Mac OS X 10.3.9/10.4.10 のみ）

［プリント種類］に切り替えた場合の設定項目について説明します。

【プリント種類】

プリントの種類を設定します。

- ［通常プリント］*

  通常のプリントです。

- ［セキュリティープリント］

  印刷を指示したデータを一時的にプリンター内に蓄積させて、印刷したいときにプリンター側の指示で出力させる機能です。

  ［設定］をクリックして表示される［設定］ダイアログボックスで、各項目を設定します。

  ［セキュリティープリント］ダイアログボックスについては、「［セキュリティープリント］の場合の［設定］ダイアログボックス」(P.95) を参照してください。

- ［サンプルプリント］

  複数部数を印刷する場合に、まず 1 部だけ印刷し、残りの部数は印刷結果を確認してから、プリンター側の指示で出力させる機能です。

  ［設定］をクリックして表示される［設定］ダイアログボックスで、各項目を設定します。

  ［サンプルプリント］ダイアログボックスについては、「［サンプルプリント］の場合の［設定］ダイアログボックス」(P.96) を参照してください。

  サンプルプリントをする場合は、印刷部数を 2 部以上に設定します。

- ［時刻指定プリント］

  印刷を指示したデータを一時的にプリンター内に蓄積させて、指定した時刻に出力させる機能です。

［設定］をクリックして表示される［設定］ダイアログボックスで、各項目を設定します。

［時刻指定プリント］ダイアログボックスについては、「［時刻指定］の場合の［設定］ダイアログボックス」(P.96) を参照してください。

■［セキュリティープリント］の場合の［設定］ダイアログボックス

［ユーザー ID］

セキュリティープリントで使用されるユーザー ID を入力します。ユーザー ID の最大文字数は、半角英数または半角カナで 8 文字です。

［暗証番号］

セキュリティープリントの［ユーザー ID］に対応する、暗証番号を入力します。半角数字で 12 文字以内で入力します。番号は、●で表示されます。

補足
- 暗証番号を設定していない場合は、機器側で暗証番号を入力することなく出力できます。
- 暗証番号の最小桁数は、本機の操作パネルで設定してください。設定方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

［蓄積する文書名］

プリンターに保存する文書の名前を指定する方法を選択します。［自動取得］または［文書名を入力する］から選択します。

［自動取得］を選択すると、文書名は印刷を指示したアプリケーションから取得され、入力はできません。また、半角英数または半角カナで 8 文字を超えた場合は、文書名がなし（NULL）で出力されます。

［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］に文書の名前を入力します。

- **［自動取得］ ***
- **［文書名を入力する］**

［文書名］

［蓄積する文書名］で［文書名を入力する］を選択した場合に、プリンターに保存される文書の名前を入力します。入力できる文字数は、半角英数または半角カナで 8 文字以内です。

■［サンプルプリント］の場合の［設定］ダイアログボックス

［ユーザー ID］

サンプルプリントで使用されるユーザー ID を入力します。ユーザー ID の最大文字数は、半角英数または半角カナで 8 文字です。

［蓄積する文書名］

プリンターに保存する文書の名前を指定する方法を選択します。［自動取得］または［文書名を入力する］から選択します。

［自動取得］を選択すると、文書名は印刷を指示したアプリケーションから取得され、入力はできません。また、半角英数または半角カナで 8 文字を超えた場合は、文書名がなし（NULL）で出力されます。

［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］に文書の名前を入力します。

- ［自動取得］ *
- ［文書名を入力する］

［文書名］

［蓄積する文書名］で［文書名を入力する］を選択した場合に、プリンターに保存される文書の名前を入力します。入力できる文字数は、半角英数または半角カナで 8 文字以内です。

■［時刻指定］の場合の［設定］ダイアログボックス

［印刷開始時刻］

時刻指定プリントを選択した場合に、印刷を開始する時刻を指定します。指定した時刻に電源が切ってあった場合は、電源が入ってから印刷されます。指定できる時刻の範囲は、00:00 〜 23:59 です。

［蓄積する文書名］

プリンターに保存する文書の名前を指定する方法を選択します。［自動取得］または［文書名を入力する］から選択します。

［自動取得］を選択すると、文書名は印刷を指示したアプリケーションから取得され、入力はできません。また、半角英数または半角カナで 8 文字を超えた場合は、文書名がなし（NULL）で出力されます。

［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］に文書の名前を入力します。

- ［自動取得］＊
- ［文書名を入力する］

［文書名］

［蓄積する文書名］で［文書名を入力する］を選択した場合に、プリンターに保存される文書の名前を入力します。入力できる文字数は、半角英数または半角カナで 8 文字以内です。

■［認証情報］の設定項目

（Mac OS X 10.3.9/10.4.10 のみ）

［認証情報］に切り替えた場合の設定項目について説明します。

【認証管理モード】

認証に関係する各種の設定について、各ユーザーが変更できるようにするか、管理者が決めた設定をそのまま使用させるかを選択します。

［管理者］を選択すると、集計管理は管理者が設定したモードで動作し、ユーザーは変更できなくなります。プリンターアイコンごとに、異なる設定ができます。

［ユーザー］を選択すると、各ユーザーが、集計管理の設定を変更できるようになります。ユーザーごとに、異なる設定ができます。

- ［管理者］
- ［ユーザー］＊

【使用する認証情報】

印刷を開始したときに、「認証情報の入力」ダイアログボックスで入力できる認証情報を設定します。

［User ID/Account ID］を選択すると、認証用 User ID を入力できます。

[蓄積用ユーザー ID] を選択すると、蓄積用ユーザー ID を入力できます。

[すべて] を選択すると、認証用 User ID または蓄積用ユーザー ID を入力できます。

- ［User ID/Account ID］＊
- ［蓄積用ユーザー ID］

- ［すべて］

【認証情報の設定 ...】

このボタンを選択すると、[認証情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。

■［認証情報の設定］ダイアログボックス

プリント出力するときのユーザー認証のための各種設定を行います。

補足 ・現在ログオンしているユーザーに、プリンターの設定へのアクセス権がない場合、この項目はグレー表示になり、設定を変更できません。

補足 ・［標準に戻す］をクリックすると、初期値に戻すことができます。

［常に同じ認証情報を使用する］

このボタンを選択すると、印刷するときのユーザー名には、このダイアログボックスで設定した認証情報が使用されます。

［User ID の指定］

User ID の指定方法を選択します。User ID は、プリントジョブの集計機能を使用するときに使用されます。

- ［ログイン名を使用する］*

  User ID として、Macintosh のログイン名が使用されます。

  ［User ID］に「ログインユーザー名」が表示され、［User ID］のテキストボックスは編集できない状態になります。ログイン名の最大文字数は、半角で 32 文字（全角で 16 文字）です。32 文字を超える場合は、無効になります。

- ［ID を入力する］

  User ID を任意に指定したい場合に選択します。

［User ID］

任意の User ID を入力します。User ID の最大文字数は、半角で 32 文字（全角で 16 文字）です。

［パスワード］

User ID に対するパスワードを入力します。4 〜 12 文字の半角英数文字を入力します。入力したパスワードは、●で表示されます。

［Account ID］

任意の Account ID を入力します。半角英数文字で 32 文字以内で入力します。

［蓄積用ユーザー ID］

一般ユーザーが任意に課金管理の設定を変更できないように制限するために蓄積用ユーザー ID を登録します。蓄積用ユーザー ID の最大文字数は、半角英数または半角カナで 8 文字です。

補足 ・ プリンターとしての集計管理機能を使用している場合に、［蓄積用ユーザー ID］を指定したジョブは、印刷されずに［認証プリント］に蓄積用ユーザー ID ごとに保存されます。

［暗証番号］

蓄積用ユーザー ID に対する暗証番号を入力します。半角英数文字で 12 文字以内で入力します。入力した番号は、●で表示されます。

補足 ・ 暗証番号の最小桁数は、本機の操作パネルで設定してください。設定方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］

このボタンを選択すると、印刷を指示したときに［認証情報の入力］ダイアログボックスが表示されます。ユーザーは、ユーザー名やパスワードなどを入力して印刷を開始します。

［前回入力した情報を表示する］

このチェックボックスをオンにすると、［認証情報の入力］ダイアログボックスの設定画面に、前回設定したユーザーの認証情報が表示されます。前回設定したユーザーの認証情報は、ユーザーごとにプリンターアイコンに対して登録されます。

［User ID の入力文字を隠す］

このチェックボックスをオンにすると、［認証情報の入力］ダイアログボックスの設定画面で入力したユーザー ID が、●で表示されます。

［Account ID の入力文字を隠す］

このチェックボックスをオンにすると、［認証情報の入力］ダイアログボックスの設定画面で入力したアカウント ID が、●で表示されます。

■［認証情報の入力］ダイアログボックス

［認証情報の設定］ダイアログボックスで、［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］を選択すると、印刷を指示したときに、［認証情報の入力］ダイアログボックスが表示されます。ID の指定方法によって設定項目が異なります。

＜［認証用 ID を指定する］を選択した場合＞

集計管理用のユーザー ID を指定する場合に選択します。選択すると、［User ID］、［パスワード］、［Account ID］の項目が表示されます。

［User ID］

機器で認証・集計管理機能を利用している場合、機器に登録されている User ID（ジョブオーナー名）を入力します。User ID の最大文字数は、半角で 32 文字（全角で 16 文字）です。

［パスワード］

User IDに対するパスワードを入力します。4～12文字の半角英数文字を入力します。入力したパスワードは、●で表示されます。

［Account ID］

任意のAccount IDを入力します。半角英数文字で32文字以内で入力します。

＜［蓄積用IDを指定する］を選択した場合＞

認証プリントの蓄積用のユーザーIDを指定する場合に選択します。選択すると、［蓄積用ユーザーID］、［暗証番号］の項目が表示されます。

［蓄積用ユーザーID］

一般ユーザーが任意に課金管理の設定を変更できないように制限するために蓄積用ユーザーIDを登録します。蓄積用ユーザーIDの最大文字数は、半角英数または半角カナで8文字です。

［暗証番号］

蓄積用ユーザーIDに対する暗証番号を入力します。半角英数文字で12文字以内で入力します。

入力した番号は、●で表示されます。

補足 ・ 暗証番号の最小桁数は、本機の操作パネルで設定してください。設定方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

PostScript フォント一覧

本機では、次の PostScript フォントが使用できます。

和文

■モリサワ 2 書体

- リュウミン L-KL
- 中ゴシック BBB

■平成 3 書体

- 平成明朝 TMW3
- 平成角ゴシック TMW5
- 平成丸ゴシック TMW4

欧文

- Albertus, Albertus Italic, Albertus Light
- Antique Olive Roman, Antique Olive Italic, Antique Olive Bold, Antique Olive Compact
- Apple Chancery
- Arial, Arial Italic, Arial Bold, Arial Bold Italic
- ITC Avant Garde Gothic Book, ITC Avant Garde Gothic Book Oblique, ITC Avant Garde Gothic Demi, ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique
- Bodoni Roman, Bodoni Italic, Bodoni Bold, Bodoni Bold Italic, Bodoni Poster, Bodoni Poster Compressed
- ITC Bookman Light, ITC Bookman Light Italic, ITC Bookman Demi, ITC Bookman Demi Italic
- Carta
- Chicago
- Clarendon Roman, Clarendon Bold, Clarendon Light
- Cooper Black, Cooper Black Italic
- Copperplate Gothic 32BC, Copperplate Gothic 33BC
- Coronet
- Courier, Courier Oblique, Courier Bold, Courier Bold Oblique
- Eurostile Medium, Eurostile Bold
- Eurostile Extended No.2, Eurostile Bold Extended No.2
- Geneva
- Gill Sans, Gill Sans Italic, Gill Sans Bold, Gill Sans Bold Italic, Gill Sans Light, Gill Sans Light Italic, Gill Sans Extra Bold, Gill Sans Condensed, Gill Sans Condensed Bold
- Goudy Oldstyle, Goudy Oldstyle Italic, Goudy Bold, Goudy Bold Italic, Goudy Extra Bold

- Helvetica, Helvetica Oblique, Helvetica Bold, Helvetica Bold Oblique
- Helvetica Narrow, Helvetica Narrow Oblique, Helvetica Narrow Bold, Helvetica Narrow Bold Oblique
- Helvetica Condensed, Helvetica Condensed Oblique, Helvetica Condensed Bold, Helvetica Condensed Bold Oblique
- Hoefler Text, Hoefler Text Itaric, Hoefler Text Black, Hoefler Text Black Itaric, Hoefler Ornaments
- Joanna, Joanna Italic, Joanna Bold, Joanna Bold Italic
- Letter Gothic, Letter Gothic Slanted, Letter Gothic Bold, Letter Gothic Bold Slanted
- ITC Lubalin Graph Book, ITC Lubalin Graph Book Oblique, ITC Lubalin Graph Demi, ITC Lubalin Graph Demi Oblique
- Marigold
- Monaco
- ITC Mona Lisa Recut
- New Centry Schoolbook Roman, New Centry Schoolbook Italic, New Centry Schoolbook Bold, New Centry Schoolbook Bold Italic
- NewYork
- Optima Roman, Optima Italic, Optima Bold, Optima Bold Italic
- Oxford
- Palatino Roman, Palatino Italic, Palatino Bold, Palatino Bold Italic
- Stempel Garamond Roman, Stempel Garamond Italic, Stempel Garamond Bold, Stempel Garamond Bold Italic
- Symbol
- Tekton Regular
- Times Roman, Times Italic, Times Bold, Times Bold Italic
- Times New Roman, Times New Roman Italic, Times New Roman Bold, Times New Roman Bold Italic
- Univers 45 Light, Univers 45 Light Oblique
- Univers 55, Univers 55 Oblique
- Univers 65 Bold, Univers 65 Bold Oblique
- Univers 57 Condensed, Univers 57 Condensed Oblique
- Univers 67 Condensed Bold, Univers 67 Condensed Bold Oblique
- Univers 53 Extended, Univers 53 Extended Oblique
- Univers 63 Extended Bold, Univers 63 Extended Bold Oblique
- Wingdings
- ITC Zapf Chancery Medium Italic
- ITC Zapf Dingbats

5　バーコード /OCR-B の設定

- バーコード /OCR-B について........100
  - フォントの種類と文字コード........100
  - サンプルプログラムと出力結果について........100
- 文字コード表........101
  - JAN 文字コード表........101
  - CODE39 文字コード表........102
  - NW7 文字コード表........103
  - CODE128 文字コード表........104
  - ITF（Interleaved 2 of 5）文字コード表........107
  - カスタマバーコード文字コード表........109
- バーコードのサイズ........110

バーコード /OCR-B について

PostScript ソフトウエアキットを装着することによって、バーコードを印刷できる機種について、対応するバーコードの種類、バーコードキャラクタに割り当てられた文字コード、印刷されるバーコードのサイズなどについて説明しています。

補足　・ 本書は、バーコードの基本的な知識を習得されていることを前提に説明しています。

フォントの種類と文字コード

対応するバーコードの種類は、次の表のとおりです。

各バーコードキャラクタを指定する場合に使用する文字コードは、「文字コード表」(P.101) を参照してください。

印刷されるバーコードのサイズについては、「バーコードのサイズ」(P.110) を参照してください。

バーコードの種類	PS フォント名	文字コード表の参照先
JAN	HitachiITHINJANH8-RG	「JAN 文字コード表」(P.101)
CODE39	HitachiIT-C39H8	「CODE39 文字コード表」(P.102)
NW7	HitachiITHINNW7H8-RG	「NW7 文字コード表」(P.103)
CODE128	HitachiITHINC128H8-RG	「CODE128 文字コード表」(P.104)
ITF（ベアラーバーなし）	HitachiITHINITFH8-RG	「ITF(Interleaved 2 of 5) 文字コード表」(P.107)
ITF（ベアラーバーあり）	HitachiITHINITFB-RG	
カスタマバーコード	HitachiITHINPOSTBC-RG	「カスタマバーコード文字コード表」(P.109)

フォントの種類	PS フォント名
OCR B LetterPress M	OCRBLetM

注記　・ バーコードの読み取り性能は、印刷する用紙やバーコードリーダーの性能などに大きく依存します。導入前に、ご利用される環境で十分な検証を実施されることを推奨します。

サンプルプログラムと出力結果について

バーコードの種類ごとに代表的なバーコードを印刷するサンプルプログラムと、サンプルプログラムの出力結果の PDF を用意しています。バーコードを印刷する際の参考にしてください。

■サンプルプログラム・出力結果 PDF 格納先

PostScript ソフトウエアキットに付属の CR-ROM「PostScript Driver Library」の「Manual」フォルダー内の「Barcode_Sample」フォルダー

■サンプルプログラム名

sample.ps

■出力結果 PDF 名

sample.pdf

文字コード表

バーコードキャラクタを指定する際に使用する文字コードを、バーコードの種類ごとに説明します。

JAN 文字コード表

JAN のバーコードキャラクタを印刷する際に使用する文字コードは、次の表のとおりです。

キャラクタ	文字コード					
	左側奇数パリティ		左側偶数パリティ		右側偶数パリティ	
	HEX 表現	ASCII 表現	HEX 表現	ASCII 表現	HEX 表現	ASCII 表現
0	30	0	41	A	4B	K
1	31	1	42	B	4C	L
2	32	2	43	C	4D	M
3	33	3	44	D	4E	N
4	34	4	45	E	4F	O
5	35	5	46	F	50	P
6	36	6	47	G	51	Q
7	37	7	48	H	52	R
8	38	8	49	I	53	S
9	39	9	4A	J	54	T
左側ガードバー	22	"				
右側ガードバー	23	#				
センターバー	21	!				

CODE39 文字コード表

CODE39 のバーコードキャラクタを印刷する際に使用する文字コードは、次の表のとおりです。

キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード	
	HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現
$	24	$	8	38	8	M	4D	M
%	25	%	9	39	9	N	4E	N
*	2A	*	(SP)	20	SP	O	4F	O
+	2B	+	A	41	A	P	50	P
-	2D	-	B	42	B	Q	51	Q
.	2E	.	C	43	C	R	52	R
/	2F	/	D	44	D	S	53	S
0	30	0	E	45	E	T	54	T
1	31	1	F	46	F	U	55	U
2	32	2	G	47	G	V	56	V
3	33	3	H	48	H	W	57	W
4	34	4	I	49	I	X	58	X
5	35	5	J	4A	J	Y	59	Y
6	36	6	K	4B	K	Z	5A	Z
7	37	7	L	4C	L	(SP)	40	@

NW7 文字コード表

NW7 のバーコードキャラクタを印刷する際に使用する文字コードは、次の表のとおりです。

キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード	
	HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現
$	24	$	0	30	0	A	41	A
+	2B	+	1	31	1	B	42	B
-	2D	-	2	32	2	C	43	C
.	2E	.	3	33	3	D	44	D
/	2F	/	4	34	4	A	61	a
			5	35	5	B	62	b
			6	36	6	C	63	c
			7	37	7	D	64	d
			8	38	8			
			9	39	9			
			:	3A	:			

CODE128 文字コード表

CODE128 のバーコードキャラクタを印刷する際に使用する文字コードは、次の表のとおりです。

数値	キャラクタ			文字コード	
	コード A	コード B	コード C	HEX 表現	ASCII 表現
0	SP	SP	00	20	SP
1	!	!	01	21	!
2	"	"	02	22	"
3	#	#	03	23	#
4	$	$	04	24	$
5	%	%	05	25	%
6	&	&	06	26	&
7	'	'	07	27	'
8	(	(	08	28	(
9	)	)	09	29	)
10	*	*	10	2A	*
11	+	+	11	2B	+
12	,	,	12	2C	,
13	-	-	13	2D	-
14	.	.	14	2E	.
15	/	/	15	2F	/
16	0	0	16	30	0
17	1	1	17	31	1
18	2	2	18	32	2
19	3	3	19	33	3
20	4	4	20	34	4
21	5	5	21	35	5
22	6	6	22	36	6
23	7	7	23	37	7
24	8	8	24	38	8
25	9	9	25	39	9
26	:	:	26	3A	:
27	;	;	27	3B	;
28	<	<	28	3C	<
29	=	=	29	3D	=
30	>	>	30	3E	>
31	?	?	31	3F	?
32	@	@	32	40	@
33	A	A	33	41	A

数値	キャラクタ			文字コード	
	コード A	コード B	コード C	HEX 表現	ASCII 表現
34	B	B	34	42	B
35	C	C	35	43	C
36	D	D	36	44	D
37	E	E	37	45	E
38	F	F	38	46	F
39	G	G	39	47	G
40	H	H	40	48	H
41	I	I	41	49	I
42	J	J	42	4A	J
43	K	K	43	4B	K
44	L	L	44	4C	L
45	M	M	45	4D	M
46	N	N	46	4E	N
47	O	O	47	4F	O
48	P	P	48	50	P
49	Q	Q	49	51	Q
50	R	R	50	52	R
51	S	S	51	53	S
52	T	T	52	54	T
53	U	U	53	55	U
54	V	V	54	56	V
55	W	W	55	57	W
56	X	X	56	58	X
57	Y	Y	57	59	Y
58	Z	Z	58	5A	Z
59	[	[	59	5B	[
60	\	\	60	5C	\
61	]	]	61	5D	]
62	^	^	62	5E	^
63	_	_	63	5F	_
64	NUL	`	64	60	`
65	SOH	a	65	61	a
66	STX	b	66	62	b
67	ETX	c	67	63	c
68	EOT	d	68	64	d
69	ENQ	e	69	65	e
70	ACK	f	70	66	f
71	BEL	g	71	67	g

数値	キャラクタ			文字コード	
	コード A	コード B	コード C	HEX 表現	ASCII 表現
72	BS	h	72	68	h
73	HT	I	73	69	I
74	LF	j	74	6A	j
75	VT	k	75	6B	k
76	FF	l	76	6C	l
77	CR	m	77	6D	m
78	SO	n	78	6E	n
79	SI	o	79	6F	o
80	DLE	p	80	70	p
81	DC1	q	81	71	q
82	DC2	r	82	72	r
83	DC3	s	83	73	s
84	DC4	t	84	74	t
85	NAK	u	85	75	u
86	SYN	v	86	76	v
87	ETB	w	87	77	w
88	CAN	x	88	78	x
89	EM	y	89	79	y
90	SUB	z	90	7A	z
91	ESC	{	91	7B	{
92	FS	|	92	7C	|
93	GS	}	93	7D	}
94	RS	~	94	7E	~
95	US	DEL	95	7F	
96	FNC 3	FNC 3	96	A1	
97	FNC 2	FNC 2	97	A2	
98	SHIFT	SHIFT	98	A3	
99	CODE C	CODE C	99	A4	
100	CODE B	FNC 4	CODE B	A5	
101	FNC 4	CODE A	CODE A	A6	
102	FNC 1	FNC 1	FNC 1	A7	
103	START(CODE A)			A8	
104	START(CODE B)			A9	
105	START(CODE C)			AA	
106	STOP			AB	

ITF(Interleaved 2 of 5) 文字コード表

ITF のバーコードキャラクタを印刷する際に使用する文字コードは、次の表のとおりです。

キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード	
	HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現
00	21	!	30	3F	?	60	5D	]
01	22	"	31	40	@	61	5E	^
02	23	#	32	41	A	62	5F	_
03	24	$	33	42	B	63	60	`
04	25	%	34	43	C	64	61	a
05	26	&	35	44	D	65	62	b
06	27	'	36	45	E	66	63	c
07	28	(	37	46	F	67	64	d
08	29	)	38	47	G	68	65	e
09	2A	*	39	48	H	69	66	f
10	2B	+	40	49	I	70	67	g
11	2C	,	41	4A	J	71	68	h
12	2D	-	42	4B	K	72	69	i
13	2E	.	43	4C	L	73	6A	j
14	2F	/	44	4D	M	74	6B	k
15	30	0	45	4E	N	75	6C	l
16	31	1	46	4F	O	76	6D	m
17	32	2	47	50	P	77	6E	n
18	33	3	48	51	Q	78	6F	o
19	34	4	49	52	R	79	70	p
20	35	5	50	53	S	80	71	q
21	36	6	51	54	T	81	72	r
22	37	7	52	55	U	82	73	s
23	38	8	53	56	V	83	74	t
24	39	9	54	57	W	84	75	u
25	3A	:	55	58	X	85	76	v
26	3B	;	56	59	Y	86	77	w
27	3C	<	57	5A	Z	87	78	x
28	3D	=	58	5B	[	88	79	y
29	3E	>	59	5C	\	89	7A	z

キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード	
	HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現
90	7B	{	94	A1		98	A5	
91	7C	|	95	A2		99	A6	
92	7D	}	96	A3		スタート	A7	
93	7E	~	97	A4		ストップ	A8	

ITF では、バーで表すキャラクタとスペースで表すキャラクタの 2 つのキャラクタの組を 1 つの文字コードで指定します。

ただし、スタートキャラクタとストップキャラクタは 1 つの文字コードで指定します。

例：

「3」の意味を持つバーと「7」の意味を持つスペースのキャラクタの組を印刷する場合は、「46」（HEX 表現）を指定します。

「7」の意味を持つバーと「3」の意味を持つスペースのキャラクタの組を印刷する場合は、「6A」（HEX 表現）を指定します。

カスタマバーコード文字コード表

カスタマバーコードのバーコードキャラクタを印刷する際に使用する文字コードは、次の表のとおりです。

キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード	
	HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現
スタート	3C	<	CC1	61	a
ストップ	3E	>	CC2	62	b
-	2D	-	CC3	63	c
0	30	0	CC4	64	d
1	31	1	CC5	65	e
2	32	2	CC6	65	f
3	33	3	CC7	67	g
4	34	4	CC8	68	h
5	35	5			
6	36	6			
7	37	7			
8	38	8			
9	39	9			

バーコードのサイズ

印刷されるバーコードのおおよその大きさを求める計算式は、次の表のとおりです。

印刷されるバーコードのサイズは、使用するプリンターの特性、解像度、印刷用紙などによって、同じプログラムでも異なることがあります。この表の計算式によって算出した値は、実際に印刷されるバーコードのサイズを保証するものではありません。印刷するバーコードの全長などを見積もる際の目安として利用してください。

バーコードの種類	計算式	
	幅	高さ
JAN（標準）	P × 0.502	P × 0.352
	左右のマージンは含みません。	ガードバーの高さを示します。
JAN（短縮）	P × 0.354	P × 0.352
	左右のマージンは含みません。	ガードバーの高さを示します。
CODE39	P × （C+2） × 0.106	P × 0.352
	左右端のキャラクタ間ギャップは含みません。 Cは、チェックディジットを含みます。	
NW7	P × （C1 × 0.132+C2 × 0.148-0.026）	P × 0.352
	左右端のキャラクタ間ギャップは含みません。 C1、または C2 は、チェックディジットを含みます。	
CODE128	P × （C × 0.081+0.096）	P × 0.352
	モード C の場合の計算式です。	
ITF（ベアラーバーなし）	P × （（C/2 × 0.175）+0.093）	P × 0.352
	クワイエットゾーンは含みません。 Cは、チェックディジットを含みます。	
ITF（ベアラーバーあり）	P × （（C/2 × 0.137）+0.323）	P × 0.352
	ベアラーバー、およびクワイエットゾーンを含みます。 Cは、チェックディジットを含みます。	ベアラーバーを含みます。
カスタマバーコード	P × 7.297	P × 0.342
	スタートコードの黒バー以前、およびストップコードの黒バー以降のスペースは含みません。	ロングバーの高さを示します。

P：フォントサイズ（ポイント数）

C：キャラクタ数

C1：キャラクタ数（0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、-、$）

C2：キャラクタ数（:、/、.、+、A、B、C、D）

索　引

記号・英数

AdobePS 8.8J 42
Macintosh 用ソフトウエア..................... 13
PostScript ソフトウェアキット................ 10
PPD ファイル名............................... 11
UNIX 環境で使用するには...................... 14
USB 37
Windows 15, 58
Windows 2000 .... 16, 28
Windows Server 2003 .... 16, 28
Windows Server 2008 .... 16, 33
Windows Vista 16, 33
Windows XP 16, 28
Windows 用ソフトウエア....................... 12

イ

インストール時のプリンター名 10

サ

最新版ソフトウエアの入手方法 14

ス

スクリーンフォントのインストール 55

タ

対象 OS について 12

ハ

バーコード /OCR-B の設定 105

フ

付属の CD-ROM について（Macintosh）.......... 40
付属の CD-ROM について (Windows)............. 16
プリンター名 10
プリンター側の設定 14
プリンタードライバーのインストール
(Macintosh) 42
プリンタードライバーのインストール
(Windows) 18
プリンタードライバーの設定（Macintosh）..... 85
プリンタードライバーの設定（Windows）....... 58

ヘ

ヘルプの使い方 36

リ

利用可能なソフトウエア 12

商品のお問い合わせ先について

● この商品の**保守**、**操作**、**修理**（内容・期間・費用）のお問い合わせ、**消耗品**のご購入について、および本機を廃却する場合は、
商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、または商品センターにお問い合わせください。

表面

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　フジゼロックス
0120-66-2209　FAX : **0120-14-1046**

フリーダイヤル受付時間 : 土、日、祝日および弊社指定休業日を除く9時～17時30分

ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用になれません。全国通話できる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuPrint 4050

PostScript ユーザーズガイド

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行者 ― 富士ゼロックス株式会社

発行年月 ― 2008 年 11 月　第 1 版

（帳票 No:ME4358J1-1）